

第266回 日本循環器学会関東甲信越地方会

日 時 令和4年12月10日(土)
会 場 ステーションコンファレンス東京 4～6階 (千代田区)
第I会場 (503CD)
第II会場 (503AB)
第III会場 (501A)
第IV会場 (501B)
第V会場 (402BCD)
第VI会場 (605BC)
PCセンター (501S)
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー 4～6階
TEL 03-6888-8080

会 長 国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院 循環器内科
鈴木 誠

御 案 内

1. 参加費: 会員 3,000円
後期研修医、コメディカル 1,000円
初期研修医、医学部学生 無料
※当日、受付にて初期研修医証明書、学生証をご提示下さい。

2. 受付時間: 参加受付 8:30-17:50
PCセンター 8:30-17:30

3. 一般演題発表時間: 口演 5分、討論 2分

4. Award: Student Award、Resident Award、Clinical Research Award、Case Report Awardを設け、各Award最優秀賞、優秀賞を顕彰いたします。

選考委員による第一次書類審査による選考後、地方会当日口述発表による第二次審査で審査委員から発表者に対し質疑応答を行います。(口演 6分、討論 4分)

Student Award: 第I会場: 16:00-16:50

Resident Award: 第I会場: 17:00-17:50

Case Report Award: 第II会場: 16:00-16:50

Clinical Research Award: 第II会場: 17:00-17:50

なお、以下の項目が審査の対象となります。

- 1) 正しい医学用語の使用
 - 2) 発表時間の厳守と態度
 - 3) 考察
 - 4) 質問に対する応答
 - 5) 循環器臨床に対する貢献度
- 表彰式は評議員会終了後に評議員懇親会で行います。

5. その他: 会場内では携帯電話のスイッチはお切りいただきかマナーモードに設定して下さい。また、講演中の写真撮影はご遠慮下さい。

託児サービスのご案内:

日本循環器学会関東甲信越支部では、地方会へのご参加の利便を図るため託児サービスを行っております。

評議員会: 地方会終了後、第I会場で行います。

(懇親会は5階フロアにて行います。)

次回地方会: 第267回地方会は次の通りです。

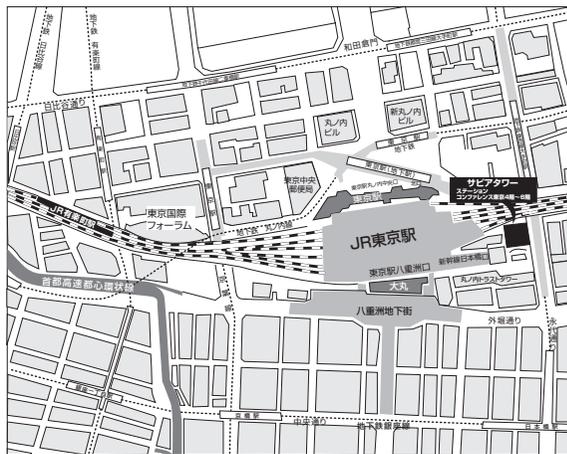
日時: 令和5年2月25日(土)

会場: ステーションコンファレンス東京(千代田区)

会長: 新家 俊郎

(昭和大学医学部内科学講座 循環器内科学部門)

ステーションコンファレンス東京 案内図



交通のご案内

【JR線・東京メトロ】

「東京駅」日本橋口(新幹線専用改札口) 徒歩1分

八重洲北口改札口 徒歩2分

東京メトロ東西線「大手町駅」B7出口から直結

【発表者の方へ】

発表はすべてPCプレゼンテーションとなりますので、以下の要領をご確認の上、ご発表の30分前までにPCセンターへお越し下さい。

●Windows でデータを作成された場合：データをお持ち下さい

- USBフラッシュメモリに保存してご提出下さい。
(DVD・FD・MO等は受付できませんのでご注意ください。)
- OSはWindows 10、アプリケーションはPowerPoint 2013、2019、2021に対応しております。
それ以外のソフトや動画が多い場合は、ご自身のPCをお持ち下さい。
- フォントはOS (Windows 10) 標準のもののみご用意致します。
日本語：MSゴシック・MSPゴシック・MS明朝・MSP明朝
英語：Times New Roman・Arial・Arial Black・Arial Narrow・Century
Century Gothic・Courier・Courier New・Georgia
これ以外のフォントを使用した場合、文字・段落のずれ・文字化け・表示されない等のトラブルが発生する可能性があります。
- 液晶プロジェクターの解像度はフルHD (1,920×1,080dpi) まで対応しております。
- ご用意いただくUSBフラッシュメモリのウイルスチェックを事前に行ってください。
- ご発表開始時刻の30分前までにPCセンターでご発表データを試写確認のうえ、ご提出下さい。
午前の最初のセッションの時間帯ではPCセンターが混雑しますので、お早めにお越し下さい。
- 発表者ツールの機能はご使用にはなれません。
- ご発表データは事務局で責任を持って消去致します。

●Macintoshでデータを作成された場合：ご自身のPCをご持参下さい

- 必ずACアダプターをご用意下さい。



HDMI



HDMI



付属外部出力ケーブル例

- 動画もご利用いただけますが、再生できることをPCセンターで必ずご確認下さい。
- 利用機種・OS・アプリケーションに制限はありませんが、HDMIによるモニター出力が必要です。
ご持参いただくPCからHDMIへの変換コネクタが必要な場合には、各自でご用意下さい。 HDMI以外の接続はお受けできませんので予めご了承ください。
- ご講演時は演台にあるマウス又はキーボードにてスライドの操作をお願いいたします。操作機器の接続にUSBポートを使用するため、USBポートがないPCをお持ちの場合は変換コネクタをご用意ください。(例：MacBook Type-CからUSB変換)
- スクリーンセーバー、ウイルスチェックならびに省電力設定は予め解除しておいて下さい。
- 電源ケーブルを必ずご持参下さい。バッテリーでのご使用はトラブルの原因となります。
- 発表開始時刻の30分前までに、PCセンターで試写を行ってください。PCセンターならびにPCオペレーション席ではデータの修正・変更は行えません。
- 念のため発表用データのバックアップを必ずご持参下さい。
- ご持参頂くPCに保存されている貴重なデータの損失を避けるため、必ず事前にデータのバックアップを取っておいて下さい。
- PCをお預かり時にお渡しする半券はPC返却時に必要ですので大切に保管下さい。
- 発表者ツールの機能はご使用にはなれません。
- ご講演時に原稿が必要な場合は、予め印刷してご持参ください。

第266回 日本循環器学会関東甲信越地方会

日時：令和4年12月10日（土）

会場：ステーションコンファレンス東京 4～6階（千代田区）

会長：国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院 循環器内科 鈴木 誠

第Ⅰ会場		第Ⅱ会場		第Ⅲ会場		第Ⅳ会場		第Ⅴ会場		第Ⅵ会場	
8:50	開会挨拶										
9:00	会長企画セッションI: SMILE Network合同 セッション 9:00-10:30 我が国の現状を 踏まえた心不全 治療を考える	9:00 一般演題 9:00-9:45 心不全 セッション1				9:00 一般演題 9:00-9:45 大動脈 セッション2				9:00	日本循環器学会 関東甲信越地方 会と日本心臓リ ハビリテーショ ン学会関東甲信 越支部の合同シ ンポジウム 9:00-10:30
		9:45 休憩					休憩				
		9:55 一般演題 9:55-10:30 心内膜炎 セッション3		10:00 一般演題 10:00-10:45 デバイス セッション4		10:00 一般演題 10:00-11:00 虚血性心疾患 1 セッション5		10:00 一般演題 10:00-10:35 不整脈 1 セッション6		10:00	
10:30	休憩	休憩		10:45 休憩				10:35 休憩		10:30	休憩
10:50	教育セッション I 10:50-12:20 循環器診療を心エコーを 用いて最適化する 演者：内山沙央里 (日本医科大学付属病院内科) 演者：片岡 明久 (徳京大学医学部附属病院内科) 演者：佐藤 希美 (京波大学医学部循環器内科) 演者：鍵山 暢之 (順天堂大学循環器内科)	教育セッション I 中継会場		教育セッション I 中継会場		11:00 休憩		10:40 一般演題 10:40-11:25 不整脈 2 セッション8		10:50	第13回 ダイバーシティー・ フォーラム 10:50-12:20 第7回めがせ循 環器専門医！循 環器専門医試験 対策セミナー
12:20	休憩	休憩		休憩		11:30 一般演題 11:30-12:20 虚血性心疾患 2 セッション7		11:25 休憩		12:20	休憩
12:50	12:50-13:40 ランチョン セミナー 1 共催：バイエル薬品株式会社	12:50 12:50-13:40 ランチョン セミナー 2 共催：第一共済株式会社		12:50 12:50-13:40 ランチョン セミナー 3 共催：アストラゼネカ株式会社/ 小野薬品工業株式会社		12:50 12:50-13:40 ランチョン セミナー 4 共催：日本イーライリザ株式会社/ 日本ペーリンガーインゲルヘルム株式会社		12:50 12:50-13:40 ランチョン セミナー 5 共催：ロシュ・ダイアグノ スティクス株式会社		12:50	12:50-13:40 ランチョン セミナー 6 共催：エドワーズライフ サイエンス株式会社
13:40	休憩	休憩		休憩		休憩		休憩		13:40	休憩
13:50	教育セッション II 13:50-15:20 心電図読影 ベーシックセミナー 演者：田尾 進 (東京医科歯科大学循環器内科) 演者：田中 泰章 (横浜真共済病院循環器センター) 演者：大野 真紀 (亀田総合病院循環器内科)	教育セッション II 中継会場		教育セッション II 中継会場		13:50 一般演題 13:50-14:40 弁膜症 セッション10		13:50 一般演題 13:50-14:35 心筋炎・心筋症 1 セッション11		13:50	学術委員会企画 セッション 13:50-15:20 基礎心疾患から見た心不全治療 循環器診療に携わる人は 皆心不全の問題に直面します。 この問題を皆で共有し、 皆で解決策を探しましょう。
15:20	休憩	休憩		休憩		14:40 休憩		14:35 休憩		15:20	休憩
				15:30 15:30-16:20 デザート セミナー 1 共催：プリストル・マイヤーズ スタイブ株式会社/ ファイザー株式会社		15:30 15:30-16:20 デザート セミナー 2 共催：アボットメディカル ジャパン合同会社		14:45 一般演題 14:50-15:20 心筋炎・心筋症 2 セッション13		15:30	15:30-16:20 デザート セミナー 4 共催：ジョンソン・エンド・ ジョンソン株式会社
16:00	16:00-16:50 Student Award	16:00-16:50 Case Report Award		16:20 休憩		16:20 休憩		16:20 休憩		16:20	休憩
16:50	休憩	休憩						16:30 会長企画セッションII 16:30-18:00 循環器疾患ディベート：1. 心不全に合併した心房細動 にはまずはカテーテルアブ レーションを行うべきだ 循環器疾患ディベート：2. 慢性冠症候群に対するPCI は必要なのか？		16:30	生物統計セミナー 16:30-17:15 診断制度・転帰予測 研究の読み方書き方
17:00	17:00-17:50 Resident Award	17:00-17:50 Clinical Research Award						17:15		17:15	基礎研究セミナー 17:15-18:00 基礎研究へのいざない～循環器 医が基礎研究を志す理由は？～
17:50	休憩							18:00		18:00	
18:00	閉会式										
18:10	評議委員会										

【専門医単位登録に関して】

専門医単位に関するセッション（地方会参加単位、教育セッション）は、セッション開始前に単位登録手続デスクへお越しくださいませすようお願い申し上げます。

セッション終了後には単位のご登録ができないためご注意ください。

また地方会参加単位登録（5単位）、教育セッション（3単位）はそれぞれ単位の登録手続を行っていただく必要がございます。

お手数ではございますがそれぞれの単位のご登録をお願いいたします。

■「地方会参加単位」（5単位）受付時間 9:00～17:50（開催終了まで）

■「教育セッション」（3単位）受付時間 10:20～11:50 / 13:20～14:50（開始30分前から終了30分前まで）

第 I 会場

会長企画セッション I : SMILE Network 合同セッション

9:00-10:30

座長 (聖路加国際病院心血管センター循環器内科) 小宮山伸之
座長 (横浜南共済病院循環器内科) 鈴木 誠

我が国の現状を踏まえた心不全治療を考える

循環器病対策推進基本計画で変わるこれからの循環器診療

(榊原記念病院) 磯部 光章

心不全チームにおける心不全療養指導士の役割

(北里大学看護学部看護システム学部) 眞茅みゆき

心不全チーム医療の軌跡と期待

(東海大学医学部内科学系循環器内科) 伊地知 健

教育セッション I

10:50-12:20

座長 (筑波大学医学医療系循環器内科) 石津 智子
座長 (聖マリアンナ医科大学病院循環器内科) 出雲 昌樹

循環器診療を心エコーを用いて最適化する

左室充満圧と心エコー評価

(日本医科大学付属病院循環器内科) 内山沙央里
(順天堂大学循環器内科) 鍵山 暢之

SHD診療における心エコー図と心エコー医の役割

(帝京大学医学部附属病院循環器内科) 片岡 明久

肺高血圧症の早期診断のための心エコー評価のポイント

(筑波大学医学医療系循環器内科) 佐藤 希美

心エコーにおけるAI、Dx

(順天堂大学循環器内科) 鍵山 暢之

ランチョンセミナー 1

12:50-13:40

共催：バイエル薬品株式会社
座長 (横浜栄共済病院)

野末 剛

「二次予防の立場から見た心房細動による脳梗塞予防」

地域から信頼されうる救急体制の取り組み～循環器科との連携による脳梗塞の予防～

(横浜新都市脳神経外科病院) 森本 将史

教育セッションⅡ

13:50-15:20

座長 (小田原循環器病院循環器内科) 西崎 光弘
座長 (東京医科歯科大学循環制御内科学) 笹野 哲郎

心電図読影ベーシックセミナー

疾患から学ぶ心電図読影ポイント

(東京医科歯科大学循環器内科) 田尾 進

知っているようで知らないモニター心電図

(横須賀共済病院循環器センター) 田中 泰章

デバイス植込み後の心電図所見と解釈

(亀田総合病院循環器内科) 大野 真紀

Student Award

16:00-16:50

座長 (横浜市立大学医学部循環器・腎臓・高血圧内科学) 田村 功一
座長 (自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科) 藤田 英雄
審査委員長 (山梨大学大学院総合研究部内科学講座循環器内科学) 佐藤 明
審査委員 (筑波大学医学医療系循環器内科) 石津 智子
審査委員 (昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門) 新家 俊郎
審査委員 (東京女子医科大学循環器内科) 佐藤加代子

I-1 健診心電図異常を呈し胸痛発作を繰り返す駅伝部学生の1例

(帝京大学医学部医学科) 白戸 隆大
(帝京大学医学部内科学講座循環器内科) 紺野久美子、鬼頭 健人、大宮 譲、片山 大河、
岡本 真希、山本 裕貞、渡 雄至、渡邊 雄介、
横山 直之、上妻 謙
(帝京大学医学部臨床検査医学) 古川 泰司

I-2 中等度ASを合併したLAD近位部高度石灰化病変に対し、Orbital Atherectomy Systemを用いて治療を行った2例

(国際医療福祉大学医学部医学科) 荒谷 玄
(国際医療福祉大学成田病院循環器内科) 福岡 良磨、中山 崇、杉本 一将、相澤 義泰、
館野 馨、藤本 善英、河村 朗夫
(国際医療福祉大学成田病院心臓外科) 真鍋 晋

I-3 膜性中隔領域の心筋分布の多様性とその病的意義の検討

(昭和大学医学部医学科5年) 中村 恵里
(昭和大学医学部法医学講座) 松山 高明
(昭和大学医学部臨床病理診断学講座) 佐々木陽介、矢持 淑子

I-4 メタ解析：閉塞性肥大型心筋症における経皮的中隔心筋焼却術と外科的中隔心筋切除術の比較

(筑波大学医学群医学類) 霜田 智成
(Department of Surgery, St. Luke's University Health Network, PA, USA) 横山裕次郎
(独立行政法人国立病院機構静岡医療センター心臓血管外科) 高木 寿人
(Department of Cardiology, Montefiore Medical Center, Albert Einstein College of Medicine, NY, USA) 工野 俊樹

I-5 心房細動時に心房筋が心外膜脂肪組織に与える影響の解明

(東京医科歯科大学循環器内科) 石川 紗佳
(東京医科歯科大学難治疾患研究所生体情報薬理学) 鈴木 杏奈、岩崎 利奈、笹野 哲郎
井原 健介、古川 哲史

座長 (東邦大学大学院医学研究科循環器内科学) 池田 隆徳
 座長 (千葉大学大学院医学研究科循環器内科学) 小林 欣夫
 審査委員長 (東京医科歯科大学循環制御内科学) 笹野 哲郎
 審査委員 (聖マリアンナ医科大学循環器内科) 明石 嘉浩
 審査委員 (日本大学医学部内科学系循環器内分科) 奥村 恭男
 審査委員 (順天堂大学大学院医学研究科循環器内科学講座) 末永 祐哉

I-6 ステロイド治療が奏効し血行動態の改善を経時的に観察し得たIgG4関連疾患による滲出性収縮性心膜炎の一例

(自治医科大学内科学講座循環器内科学部門) 三川 千裕
 佐藤 雅史、権田 勇樹、大場 祐輔、澤城 大悟、
 原田 顕治、荻尾 七臣

I-7 多枝冠動脈塞栓による急性心筋梗塞を初発症状として診断に至った真性多血症の1例

(東京女子医科大学附属足立医療センター心臓血管診療部) 渡邊 真由
 柴橋 英次、日丸 陽介、中田 悠貴、田中友佳子、
 山田 隆弘、岩波 裕史
 (東京女子医科大学附属足立医療センター循環器内科) 佐藤 恭子

I-8 A群β溶血性連鎖球菌による、急速な弁破壊を伴った感染性心内膜炎の一例

(東京都立墨東病院循環器科) 宮本欧史朗
 大橋 浩一、大河内美奇子、長塩 憲司、
 青山 拓令、平野 仁士、高山 陽、市原 登、
 黒木 識敬、安倍 大輔、鈴木 紅

I-9 心不全入院は全死亡・心血管死亡の代替となりうるか：RCTのメタアナリシス

(横浜労災病院医師臨床研修センター) 清原 悠嵩
 (国立がん研究センターがん対策研究所) 宮本 佳尚
 (筑波大学) 岩上 将夫
 (University of Iowa) Alexandros Briasoulis
 (Montefiore Medical Center) 工野 俊樹

I-10 高血圧の原因診断に難渋したたこつぼ症候群の一例

(横浜南共済病院研修医) 鳩岡 友紀
 (横浜南共済病院循環器内科) 山口 正男、角田 貴大、宮崎 紘子、三須 彬史、
 立石 遼、山上 洋介、加藤 信孝、島田 博史、
 一色 亜美、木村 茂樹、清水 雅人、藤井 洋之、
 鈴木 誠
 (東京医科歯科大学循環器内科) 笹野 哲郎

第Ⅱ会場

一般演題 セッション1 心不全

9:00-9:45

座長 (けいゆう病院循環器内科) 菅野 康夫
座長 (新潟大学医学総合病院循環器内科) 石原 嗣郎

- II-1 人工呼吸器離脱後の心拍数上昇による慢性心不全増悪に対してイバブラジンが有効であった1症例
(JCHO横浜中央病院循環器内科) 八幡 貴治
古屋 真吾、大角 彰仁、峯木 隆志、大岩 功治
- II-2 多発性嚢胞腎と高トリグリセリド血症の既往を有し、特発性冠動脈解離を繰り返した一例
(伊勢崎市民病院循環器内科) 椎名 貴行
渡邊 真、戸田 和辰、菊地聡一郎、樋口 京介
- II-3 低心機能の拡張型心筋症症例に対する僧帽弁置換術後にImpellaサポート下でリハビリテーションを行った一例
(さいたま赤十字病院循環器内科) 峯岸 昌代
高野 寿一、目黒 眞、中田健太郎、成田 岳、
磯長 祐平、加藤 駿一、大屋 寛章、羽田 泰晃、
狩野 実希、高木 崇光、稲村 幸洋、根木 謙、
佐藤 明、大和 恒博、稲葉 理、松村 穰
(さいたま赤十字病院心臓血管外科) 藤井 健人、住吉 力、白杉 岳洋、森田 英幹
- II-4 修正大血管転位を有する患者が85歳で初発心不全となった一例
(前橋赤十字病院臨床研修推進室) 伊藤 健一
(前橋赤十字病院心臓血管内科) 石尾洵一郎、西尾 理沙、村上 文崇、星野 圭治、
佐々木孝志、峯岸美智子、庭前 野菊、丹下 正一
(前橋赤十字病院臨床検査科) 黒澤 幸嗣
- II-5 若年性肥満低換気症候群による慢性心不全増悪に対して循環不全の管理と呼吸器管理で救命しえた一例
(東邦大学医療センター佐倉病院循環器内科) 池田 裕樹
高橋 真生、佐藤 修司
- II-6 高度肥満の拡張型心筋症に対し、ハートケアチーム介入が有効であった1例
(NTT東日本関東病院循環器内科) 根本 脩平
桂 有智、松下匡史郎、河合 良樹、澤田 直子、
持田高太郎、佐藤 高栄、山崎 正雄

一般演題 セッション3 心内膜炎

9:55-10:30

座長 (総合病院国保旭中央病院循環器内科) 宮地浩太郎
座長 (心臓血管研究所循環器内科) 加藤 祐子

- II-7 抗菌薬治療後に新規弁破壊の出現を認めたステロイド内服背景の感染性心内膜炎の一例
(青梅市立総合病院循環器内科) 伊志嶺百々子
矢部 顕人、阿部 史征、菅原 祥子、田仲 明史、
山尾 一哉、宮崎 徹、鈴木 麻美、栗原 顕、
小野 裕一、大友建一郎
(東京医科歯科大学病院循環器内科) 笹野 哲郎

II-8 残存した心外膜リードが心腔内に迷入し、感染性心内膜炎を発症した1例
 (昭和大学藤が丘病院循環器内科) 長田 知恭
 小貫 龍也、久保田芽生、間瀬 浩、土至田 勉、
 磯 良崇、江波戸美緒、鈴木 洋
 (昭和大学藤が丘病院心臓血管外科) 門脇 輔、田中 弘之

II-9 肺野に多発する浸潤影から診断に至った感染性心内膜炎の1例
 (横須賀市立うわまち病院) 武内 章悟
 沼田 裕一、岩澤 孝昌、水政 豊、黒木 茂、
 島村 浩正、荒木 浩、泊口 哲也、前田 幸祐、
 磯田 徹、加藤 聡、吉田 稔

II-10 急性心筋梗塞のカテーテル治療後に感染性心内膜炎を発症した1例
 (相模原協同病院循環器内科) 田中 航
 井關 治和、干場 泰成、杉本 篤彦、伊藤 大起、
 田宮 青滋、吉澤 智治、澤田 朋和、坂本 容規、
 土居 祥子、荒川 雄紀、石崎 裕弥

II-11 重症アトピー性皮膚炎を侵入口とした市中感染型MRSAによる感染性心内膜炎の一例
 (藤沢湘南台病院) 吉光寺恵里
 福島 裕介、大野 陸記、中村 悠城、大野 哲、
 山田 優

ランチョンセミナー2 12:50-13:40 共催：第一三株式会社
 座長 (横浜南共済病院循環器内科) 鈴木 誠

高齢心房細動患者へのアプローチ：ANAFIE・ELDERCARE-AFのサブ解析から学ぶ
 (済生会熊本病院心臓血管センター循環器内科不整脈先端治療部門) 奥村 謙

Case Report Award 16:00-16:50
 座長 (新潟大学大学院医歯学総合研究科循環器内科学) 猪又 孝元
 座長 (日本医科大学千葉北総病院循環器内科) 宮内 靖史
 審査委員長 (帝京大学医学部循環器内科) 上妻 謙
 審査委員 (慶應義塾大学病院循環器内科) 高月 誠司
 審査委員 (獨協医科大学埼玉医療センター循環器内科) 田口 功
 審査委員 (東京医科大学循環器内科) 近森大志郎

II-12 COVID-19 mRNAワクチン3回目接種後に激症型心筋炎を発症した高齢女性の一例
 (榊原記念病院循環器内科) 関 侑華
 樋口 亮介、七里 守、磯部 光章
 (東京女子医科大学病院病理診断科) 吉澤佐恵子

II-13 心腔内エコー・3Dマッピングシステム併用心臓腫瘍生検により、早期に化学療法を実施し得た一例
 (獨協医科大学埼玉医療センター循環器内科) 田村 洋平
 中原 志郎、伊藤 達彦、菊池 優太、竹山 太郎、
 志村マサ紀、近藤 勇喜、華 臻セイ、越川 優里、
 宇梶僚あき、東 彩子、福田 怜子、水谷有克子、
 中村日出彦、堀 裕一、久内 格、板橋 裕史、
 石川 哲也、小林さゆき、酒井 良彦、田口 功

II-14 自己免疫性疾患の入院中に衝心性脚気を発症した一例
 (順天堂大学医学部附属順天堂医院循環器内科) 住吉 まり
 黒田 俊介、遠藤 裕久、高須 清、清水 逸平、
 松原 友美、土肥 智貴、岩田 洋、南野 徹

II-15 急速な経過を辿り生前に確定診断に至らなかったpulmonary tumor thrombotic microangiopathy (PTTM)の一例

(湘南鎌倉総合病院循環器科) 佐藤 大介
山口 昌志、田中 穰、飛田 一樹、宍戸 晃基、
山中 太、高橋佐枝子、齋藤 滋
(湘南鎌倉総合病院病理診断部) 内藤 航、手島 伸一

II-16 心房細動アブレーション後に分節性動脈中膜融解による複数の動脈瘤破裂を来した一例

(東京医科歯科大学循環器内科) 中島 聡良
根岸 美帆、大森 真理、菅野 義典、池ノ内 孝、
山本 佑、松田 祐治、荒木 誠、後藤健太郎、
重田 卓俊、白井 英祐、平澤 憲祐、西村 卓郎、
落田 美瑛、田尾 進、滝川 正晃、梅本 朋幸、
宮崎 晋介、前嶋 康浩、合屋 雅彦、笹野 哲郎

Clinical Research Award

17:00-17:50

座長 (信州大学医学部循環器内科学教室) 桑原宏一郎
座長 (北里大学医学部循環器内科学) 阿古 潤哉
審査委員長 (東京大学大学院医学系研究科循環器内科学) 小室 一成
審査委員 (東海大学医学部内科学系循環器内科学) 伊刈 裕二
審査委員 (群馬大学大学院医学系研究科内科学講座循環器内科分野) 石井 秀樹
審査委員 (順天堂大学大学院医学研究科循環器内科) 南野 徹

II-17 Universal definitionに基づくバイオマーカーで定義したStage B心不全の危険因子と心不全発症リスク

(自治医科大学内科学講座循環器内科学部門) 木下 真緒
星出 聡、成田 圭佑、原田 顕治、苅尾 七臣

II-18 経皮的冠動脈インターベンション(PCI)後の亜急性血栓症発生に対する定量的全血血小板凝集能の適切予後閾値

(千葉西総合病院循環器内科) 赤座 慎
横田 光俊、倉持 雄彦、三角 和雄
(国際医療福祉大学市川病院循環器内科) 船橋 伸禎
(千葉西総合病院臨床工学科) 林 貞治
(群馬県立心臓血管センター循環器内科) 中村 絃規

II-19 ST上昇型急性心筋梗塞における責任病変プラーク性状と側副血行の発達の関係

(横浜南共済病院循環器内科) 山上 洋介
木村 茂樹、角田 貴大、宮崎 紘子、三須 彬生、
立石 遼、山口 正男、加藤 信孝、島田 博史、
一色 亜美、清水 雅人、藤井 洋之、鈴木 誠
(東京医科歯科大学循環器内科) 笹野 哲郎

II-20 運動負荷検査における虚血性心疾患患者の自律神経活性の特徴

(JCHO東京山手メディカルセンター循環器内科) 山川 祐馬
川勝 紗樹、渡部 真吾、河本 梓帆、雨宮 未季、
増田 怜、村上 輔、吉川 俊治、鈴木 篤、
薄井 宙男

第Ⅲ会場

一般演題 セッション4 デバイス

10:00-10:45

座長 (杏林大学不整脈先進治療学研究講座) 上田 明子

座長 (虎の門病院循環器センター内科) 西山 信大

Ⅲ-1 DDD型ペースメーカー植込み後に心機能が低下し、心不全治療に難渋した患者にCRTへのupgradeを施行した一例

(藤沢湘南台病院循環器内科)

山田 優

福島 裕介、大野 睦記、中村 悠城、吉光寺恵里、

大野 哲

(済生会横浜市南部病院循環器内科)

清國 雅義、猿渡 力

Ⅲ-2 皮下植込型除細動器感染を認めたBrugada症候群の一例

(新百合ヶ丘総合病院循環器内科)

秋元 耕

高橋 良英、佐藤 弘典、畔上 幸司

Ⅲ-3 上行弓部置換術後に人工血管感染を来し細菌性脳塞栓症を合併した一例

(東京警察病院循環器科)

野口 祐

唐澤 孝通、奈良 有悟、金子 光伸、門平 忠之、

寺井 知子、笠尾 昌史

Ⅲ-4 ペースメーカー植え込みなしで分娩を施行した完全房室ブロック合併妊娠の二例

(自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科)

広岡 翔真

林 達哉、宇賀田裕介、山本 真吾、大橋 潤平、

坂倉 建一、和田 浩、藤田 英雄

Ⅲ-5 IMPELLA使用に伴う大動脈弁の機械的損傷を認めた一例

(東京医科大学八王子医療センター循環器内科)

山下 裕貴

高木 竜、嘉澤脩一郎、岩崎 陽一、外間 洋平、

山田 聡、田中 信大

(東京医科大学八王子医療センター心臓血管外科)

芳賀 真、木村 光裕、本橋 慎也、井上 秀範、

赤坂 純逸

(東京医科大学病院循環器内科)

小林 正武、山下 淳

Ⅲ-6 S-ICD電池交換術時のDFTにて初回ショックで除細動に失敗した一例

(信州大学医学部附属病院循環器内科)

青木 萌子

岡田 綾子、増田 一摩、神崎 佑介、小松 稔典、

田畑 裕章、小林 秀樹、岡野 孝弘、吉江 幸司、

三枝 達也、海老澤聡一朗、元木 博彦、

庄田 守男、桑原宏一郎

ランチョンセミナー3

12:50-13:40

共催：アストラゼネカ株式会社／小野薬品工業株式会社

座長 (横浜南共済病院循環器内科) 木村 茂樹

慢性心不全治療におけるDapagliflozinへの期待～循環器治療のパラダイムシフト～

(東京医科歯科大学大学院医学総合研究科循環制御内科学)

前嶋 康浩

デザートセミナー 1

15:30-16:20

共催： Bristol-Myers Squibb株式会社/ファイザー株式会社
座長（聖マリアンナ医科大学循環器内科）原田 智雄

心房細動アブレーションの 現在地と将来像

（東京医科歯科大学先進不整脈学講座寄付講座）

宮崎 晋介

第IV会場

一般演題 セッション2 大動脈

9:00-9:45

座長 (自治医科大学臨床薬理学部門・循環器内科学部門) 今井 靖
座長 (横浜南共済病院循環器内科) 島田 博史

IV-1 精神的ストレスを契機に肋間動脈破裂を来した血管型Ehlers-Danlos症候群の一例

(日本医科大学循環器内科)

土井田 祐子
坏 宏一、林 洋史、寺門 誠雄、中島 悠希、
茂澤 幸右、松田 淳也、時田 祐吉、岩崎 雄樹、
清水 渉

IV-2 Stanford B型大動脈解離により上腸間膜動脈症候群を呈した一例

(SUBARU健康保険組合太田記念病院循環器内科)

上田 裕貴
鮫島 雄祐、北野 奨真、杉本 英純、矢口 知征、
清水 貴之、武中 宏樹、根本 尚彦、安斎 均

IV-3 感染性大動脈瘤に下大静脈巨大血栓を合併し、下大静脈フィルターの留置を必要とした1例

(JCHO埼玉メディカルセンター内科)

佐藤みどり
堀 陽一、鶴巻 良允、平原 大志、渡辺 雄也、
笹島 佑、久保 典史

(自治医科大学附属さいたま医療センター心臓血管外科)

山口 敦司、木村 直行

IV-4 高安動脈炎に腹部限局型大動脈解離を合併した1例

(東京都立多摩総合医療センター循環器内科)

蔡 梨華
田中 酉佳、河内 啓貴、守井 悠祐、宮部 倫典、
塩崎 正幸、岡部 龍太、森永 弘章、西村 睦弘、
三ツ橋佑哉、加藤 賢、田中 博之

IV-5 家族性地中海熱に合併した大動脈炎症候群に対して外科治療をした1例

(東京慈恵会医科大学心臓外科)

石割 圭一
有村 聡士、高木 智充、中村 賢、益澤 明広、
松村 洋高、儀武 路雄、長堀 隆一、坂東 興、
國原 孝

IV-6 右肺出血を合併したStanford A型急性大動脈解離の1例

(群馬県立心臓血管センター心臓血管外科)

今野 直樹
江連 雅彦、長谷川 豊、山田 靖之、星野 丈二、
岡田 修一、森下 寛之、関 雅浩、加我 徹

一般演題 セッション5 虚血性心疾患 1

10:00-11:00

座長 (武蔵野赤十字病院循環器科) 足利 貴志
座長 (東京都立広尾病院循環器科) 土山 高明

IV-7 左主幹部病変への経皮的冠動脈インターベンション中にヘパリン起因性血小板減少症による血栓症が生じた一例

(昭和大学横浜市北部病院循環器内科)

宜保 雄磨
岡部 俊孝、木村 太郎、好廣 勝哉、豊島 大貴、
伊藤 有輝、大倉 武、石垣 成紘、薄元宗一郎、
成井 崇朗、藤岡 立樹、飛鳥井 邑、齋藤 惇平、
嶋津 英、大山 祐司、井川 渉、小野 盛夫、
木戸 岳彦、荏原誠太郎、磯村 直栄、落合 正彦

- IV-8 胸痛を主訴に受診しMINOCAと診断した若年女性の一例
 (総合東京病院循環器内科) 田島 愛美
 滝村 英幸、谷口凜太郎、都築 一平、山口 幸宏、
 河野 真美、滝村由香子、西尾 智、中野 雅嗣、
 塚原 玲子
- IV-9 高安動脈炎による両側冠動脈入口部狭窄に対し外腸骨動脈を用いたパッチ形成術を施行した1例
 (榑原記念病院) 川村 貴之
 元春 洋輔、陳 軒、迎 洋輔、在國寺健太、
 岩倉 具宏、下川 智樹
 (川崎幸病院) 高梨秀一郎
- IV-10 MDA-LDL高値を契機に覚知した無症候性冠動脈主幹部三枝石灰化病変に対しPCIにより突然死を予防し
 えた症例
 (聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院循環器内科) 中西 亨
 松田 央郎
 (聖マリアンナ医科大学循環器内科) 明石 嘉浩
- IV-11 左冠動脈の中隔枝閉塞と前下行枝高度狭窄病変を有する急性前壁中隔心筋梗塞にステント留置を行った
 一例
 (練馬光が丘病院循環器内科) 佐藤 恒
 間瀬 卓顕、太田 耶瑛、大木 初里、玉那覇雄介、
 西成田 亮、荒尾憲司郎
- IV-12 POBA(Plain Old Ballon Angioplasty)後の再狭窄に対して冠動脈粥腫切除術を施行した一例
 (草加市立病院循環器内科) 東山 陽子
 工藤 侃、田代 燦、戸舎 稚詞、須藤 悠太、
 古浦 賢二、岡田 寛之、稲垣 裕
- IV-13 IgG4関連冠動脈周囲炎に併発した心筋梗塞の一例
 (東京医科大学病院循環器内科) 飯田あかね
 伊藤 亮介、中島 悠希、笠原 智大、高田洋一郎、
 伊藤 有紀、小松 一貴、村田 直隆、山下 淳、
 小菅 寿徳、近森大志郎
- IV-14 Coved型心電図様の波形を呈した血管攣縮性狭心症に伴う心室細動の一例
 (成田赤十字病院循環器内科) 松野 正直
 橋口 直貴、服部浩二郎、田邊 裕也、松岡 孝明、
 大野 祐司、山田 興、青木 康大
- 一般演題 セッション7 虚血性心疾患 2**
11:30-12:20 座長 (土浦協同病院循環器内科) 角田 恒和
 座長 (亀田総合病院循環器内科) 松村 昭彦
- IV-15 急性下壁心筋梗塞に右室梗塞および乳頭筋断裂を合併した一例
 (平塚共済病院循環器内科) 柏 良之輔
- IV-16 COVID-19肺炎入院時にACSを合併し、死亡した2症例
 (公立阿伎留医療センター) 松永 洋一
 岡部 龍太、榎田 光夫

IV-17 心原性ショックで発症した若年女性高安動脈炎の一例
 (自治医科大学循環器内科学部門) 土屋 亨規
 大場 祐輔、三玉唯由季、鈴木 規泰、篠原 肇、
 桂田 健一、小古山由佳子、清水 勇人、
 船山 大、苅尾 七臣

IV-18 急性後壁心筋梗塞の診断及びそれに伴う左室自由壁破裂の診断に難渋するも緊急開胸手術を行い救命出来た一例
 (東京医科大学八王子医療センター) 瀧原 主也
 (東京医科大学八王子医療センター循環器内科) 高木 竜、岩崎 陽一、外間 洋平、山田 聡、
 田中 信大
 (東京医科大学八王子医療センター心臓血管外科) 木村 光裕、本橋 慎也、井上 秀範、赤坂 純逸

IV-19 ST上昇型心筋梗塞で入院中に偶発的にStanford A型大動脈解離を合併した症例
 (帝京大学医学部附属病院循環器内科) 土田 泰之
 井関 洋成、渡邊 雄介

IV-20 動脈石灰化メカニズムに対する臨床からの新しい試み 最新型スペクトラルCTデータを用いた検討
 (国際医療福祉大学医学部医学科) 窪 賢介
 (国際医療福祉大学市川病院循環器内科) 船橋 伸禎
 (千葉西総合病院循環器内科) 山崎 隆広、橋本 慎也、宿谷 篤、横田 光俊、
 倉持 雄彦、三角 和雄
 (Philips Japan) 鯨井 隆介

IV-21 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症に合併した難治性冠攣縮性狭心症に対してファスジルが奏功した一例
 (順天堂大学医学部附属浦安病院循環器内科) 延島 優香
 高須 清、都丸 雅人、赤間 友香、平林 洗紀、
 阿部 寛史、石綿 清樹、柿原 翠、牧 正彬、
 島井 亮輔、磯貝 浩之、尾崎 大、安田 友紀、
 小田切史徳、高村 和久、柳沼 憲志、宮崎 哲郎、
 横山 健、戸叶 隆司
 (順天堂大学医学部附属順天堂医院循環器内科) 南野 徹

ランチョンセミナー4 12:50-13:40 共催：日本イーライリリー株式会社/日本ペーリンガーインゲルハイム株式会社
 座長 (横浜南共済病院循環器内科) 藤井 洋之

「心不全治療におけるSGLT2阻害薬の役割」
 (横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター) 松澤 泰志

一般演題 セッション10 弁膜症
 13:50-14:40 座長 (東邦大学医療センター大橋病院循環器内科) 原 英彦
 座長 (湘南鎌倉総合病院循環器科) 森山 典晃

IV-22 TAVR予定症例における大動脈弁石灰化の定量評価 スペクトラルCTを用いた仮想単色X線エネルギー
 定の検討
 (千葉西総合病院循環器内科) 坂口 大和
 赤座 慎、横田 光俊、倉持 雄彦、三角 和雄
 (国際医療福祉大学市川病院循環器内科) 船橋 伸禎
 (千葉西総合病院放射線部) 山崎 隆広、橋本 慎也、宿谷 篤
 (Philips Japan) 鯨井 隆介

IV-23 経カテーテル的大動脈弁置換術直後に洞不全症候群と通常型房室結節リエントリー性頻拍を発症した一例

(医療法人鉄蕉会亀田総合病院循環器内科)

野崎小百美
水上 暁、栗田 正幸、柴田 瑛帆、三石 一成、
吉山 慶太、益城 惇、篠崎 智哉、中田 亮、
宮國 翔太、小林 哲也、竹川 弘毅、吉岡 賢二、
大谷 拓史、大野 真紀、山下 周、岩塚 良太、
植島 大輔、松村 昭彦、廣木 次郎

IV-24 大動脈弁置換術後に早期機能不全を来した一例

(国立病院機構埼玉病院循環器内科)

森泉 友齊
佐々木賢二、井合 渉、栗原 和人、丹羽 直哉、
佐藤 篤志、田中 宏明、鶴見 昌史、小野 智彦、
松村 圭祐、鈴木 雅裕
(国立病院機構埼玉病院心臓血管外科)
配島 功成

IV-25 TAVI中にショック状態を呈した重症僧帽弁閉鎖不全症例

(杏林大学医学部付属病院心臓血管外科)

板橋 鴻司
稲葉 雄亮
南島 俊徳、毛利 崇人、三浦 陽平、若林 典弘、
西 智子、仲 悠太郎、小山 幸平、合田あゆみ、
坂田 好美、河野 隆志、副島 京子

IV-26 Impella通過後のSapien S3の病理学的考察:人工弁留置7ヶ月後のショックを伴うACS症例

(東海大学医学部循環器内科)

関川洋太郎
田中 重光、鈴木 大樹、宮本 淳一、中村 則人、
鳥居 翔、村上 力、上岡 智彦、伊地知 健、
棗田 誠、大野 洋平、伊苺 裕二

IV-27 交通事故を契機に心原性ショックに陥り、経皮的バルーン大動脈弁形成術で救命し得た大動脈弁狭窄症の一例

(筑波メディカルセンター病院)

秋山 大樹
仁科 秀崇、田邊 好秀、大澤 匠、越智 明德、
桑山 明宗、高岩 由、篠内 和也、會田 敏、
相原 英明、文藏 優子、野口 祐一

IV-28 高度感染性心内膜炎に対して三尖弁切除術を施行後遠隔期に再手術を要した1例

(横浜南共済病院循環器内科)

角田 貴大
清水 雅人、宮崎 紘子、三須 彬生、立石 遼、
山口 正男、山上 洋介、加藤 信孝、島田 博史、
一色 亜美、木村 茂樹、藤井 洋之、鈴木 誠
(横浜南共済病院心臓血管外科)
橋山 直樹、輕部 義久、孟 真
(東京医科歯科大学循環器内科)
笹野 哲郎

一般演題 セッション12 心膜・腫瘍/その他

14:50-15:20

座長 (AOI国際病院循環器内科) 川端美穂子
座長 (横浜市立大学附属病院循環器内科) 小西 正紹

IV-29 心タンポナーデで発症した原発性滲出性リンパ腫の53歳のHIV患者の1例

(東京通信病院循環器内科)

石原 達彦
一戸 能磨、原 濟、山中 哲雄、深津 徹
(東京通信病院病理診断科)
岸田由起子

IV-30 外科的加療とリツキシマブによる治療が奏効したIgG4関連収縮性心膜炎の一例

(昭和大学横浜市北部病院循環器センター循環器内科)

大倉 武
岡部 俊孝、好廣 勝哉、豊島 大貴、伊藤 有輝、
宜保 雄磨、石垣 成紘、薄元宗一郎、成井 崇朗、
藤岡 立樹、飛鳥井 邑、木村 太朗、齋藤 惇平、
嶋津 英、大山 祐司、井川 渉、小野 盛夫、
木戸 岳彦、荏原誠太郎、磯村 直栄、落合 正彦

IV-31 血性心膜液貯留を契機に早期診断に至った心臓原発血管肉腫の一例

(筑波大学附属病院循環器内科)

青野 良紀
佐藤 希美、一戸 貴子、石津 智子、家田 真樹

IV-32 右室内巨大血栓により右心不全をきたしプロテインC/S欠乏症が疑われた一例

(済生会横浜市東部病院)

合田秀太郎
山脇 理弘、谷中 夏海、阿部茉莉愛、村井 篤弥、
瀬戸長雄介、香西 祐樹、深川 知哉、岸田登志彦、
中野 考英、山口 航平、白井 重光、水澤 真文、
牧野 憲嗣、知識 俊樹、本多 洋介、堤 正和、
毛利 晋輔、小林 範弘、伊藤 良明

デザートセミナー 2

15:30-16:20

共催：アボットメディカルジャパン合同会社
座長 (横浜南共済病院循環器内科) 藤井 洋之

冠微小循環障害 最前線

「冠微小循環障害の現在地と未来予測図」

(NTT東日本関東病院／聖マリアンナ医科大学)

割澤 高行

第V会場

一般演題 セッション6 不整脈 1

10:00-10:35

座長 (新百合ヶ丘総合病院循環器内科) 高橋 良英
座長 (JCHO東京山手メディカルセンター循環器内科) 鈴木 篤

V-1 イバプラジンによる催不整脈作用が疑われた重症急性心筋梗塞の1例

(株式会社日立製作所日立総合病院循環器内科)

篠田 英樹
佐藤 琢耶、掛田 大輔、中川 大嗣、小川孝二郎、
山内理香子、樋口 甚彦、鈴木 章弘

V-2 有症候性ブルガダ症候群患者に単形性心室頻拍を合併した1例

(横浜南共済病院循環器内科)

宮崎 紘子
島田 博史、角田 貴大、三須 彬生、立石 遼、
山口 正男、山上 洋介、加藤 信孝、一色 亜美、
木村 茂樹、清水 雅人、藤井 洋之、鈴木 誠
(東京医科歯科大学附属病院循環器内科)
笹野 哲郎
(小田原循環器病院) 西崎 光弘

V-3 TAVIにより生じた左脚ブロック及び刺激伝導系の自動能亢進により多彩な心電図波形を呈した1例

(亀田総合病院循環器内科)

吉山 慶太
水上 暁、中田 亮、宮國 翔太、小林 哲也、
竹川 弘毅、廣木 次郎、吉岡 賢二、大谷 拓史、
大野 真紀、山下 周、植島 大輔、松村 昭彦

V-4 亜急性心筋梗塞の治療経過中にVT/VF stormを来たしPCPS再挿入後、緊急VT/VFアブレーションを施行した1例

(横須賀共済病院循環器内科)

渡邊 崇弘
大久保健史、高橋 健、池田 博、張 峻模、
伊藤 諒、矢野 弘崇、橘 伸一、菱刈 景一、
川口 直彦、中島永美子、村井 典史、高木 克昌、
田中 泰章、疋田 浩之、高橋 淳

V-5 心房ペーシングで再現される心房期外収縮が発作性心房細動のトリガー機序と考えられた1例

(東京女子医科大学病院循環器内科)

矢崎恭一郎
片岡 翔平、金井 美和、山口 淳一
(東京女子医科大学病院循環器内科/同先進電気的心臓制御研究部門)
庄田 守男、柳下 大悟
(みなみ野循環器病院) 江島浩一郎

一般演題 セッション8 不整脈 2

10:40-11:25

座長 (横須賀共済病院循環器内科) 高橋 淳
座長 (土浦協同病院循環器内科) 蜂谷 仁

V-6 選択的セロトニン再取り込み阻害剤により顕在化したと思われる迷走神経過敏症の1例

(東京都立荏原病院循環器内科)

佐々木英人
日吉 康長、戸田 幹人、冠木 敬之、橋本 英伸

V-7 僅かな心電図変化をきっかけに原因を診断できた虚血性心疾患合併院外心停止の一症例

(群馬大学医学部附属病院循環器内科)

岩井龍太郎
藍原 和史、児玉 智華、滝沢 大樹、藤井 孝成、
天内 士郎、久野 貴弘、長谷川 寛、小針 堯司、
石橋 洋平、田村峻太郎、高間 典明、小坂橋紀通、
金古 善明、石井 秀樹

V-8 COVID-19感染隔離期間で診断に至った心室細動蘇生後の1例

(東京都立広尾病院循環器科)

神崎 拓
高橋 正雄、小峰 征也、砂川 昌隆、津野 航、
佐々木高史、山岡広一郎、鯨岡 裕史、新井 智之、
稲垣 大、吉田 精孝、木村 高志、北條林太郎、
土山 高明、深水 誠二

V-9 電極カテーテルがキアリ網に補足され、抜去に難渋した2症例

(立川綜合病院)

松尾 佑治
佐藤 光希、萩原 明梨、末永 慎吾、太田 雄輔、
岸 翔平、那須野暁光、布施 公一、藤田 聡、
池田 佳生、北澤 仁、高橋 稔、岡部 正明

V-10 急性心筋梗塞で準緊急CABG術施行後、亜急性期の心室細動に対して植え込み型除細動器の適応に悩んだ一症例

(済生会横浜市南部病院循環器内科/横浜市立市民病院循環器内科)

(横浜市立市民病院循環器内科)

片岡 俊介
北島 龍太、櫻村 晋、新村 大輔、福本耕太郎、
小浦 貴裕、根岸 耕二

V-11 冠攣縮性狭心症を合併した先天性潜在性QT延長症候群にて心室細動に至った一例

(国立国際医療センター病院循環器内科)

黒住 篤優
鳥居 俊介、北見 有以、富所 大輝、石渡 麻衣、
江本 桜子、長井 蘭、三宅 渉、山本 純平、
久保田修司、中川 堯、山本 正也、原 久男、
廣井 透雄
加藤 規弘

(国立国際医療センター病院循環器内科/国立国際医療センター病院臨床ゲノム科・遺伝子診断治療開発研究所)

一般演題 セッション9 静脈/先天性/肺高血圧/末梢血管

11:35-12:20

座長 (横浜南共済病院心臓血管外科) 孟 真
座長 (東邦大学医療センター佐倉病院循環器内科) 清水 一寛

V-12 下大静脈フィルターが総腸骨動脈へと穿通した1例

(獨協医科大学病院心臓・血管内科/循環器内科)

和田 菜与
和久隆太郎、河野 優斗、橋本 涼太、古藪 陽太、
戸倉 通彰、西野 節、金谷 智明、佐久間理史、
阿部 七郎、豊田 茂

V-13 mt-PA使用により血流の再疎通を得た、先天性下大静脈狭窄を合併した深部静脈血栓症の1例

(新潟大学医歯学総合病院循環器内科)

薄田 英樹
土谷 浩樹、秋山 琢洋、坂口 裕太、米山晋太郎、
久保田直樹、池上龍太郎、大久保健志、八木原伸江、
柳川 貴夫、尾崎 和幸、猪俣 孝元

V-14 原因不明の肺高血圧、右心不全を認め心房中隔欠損症の診断に至った一例

(武蔵野赤十字病院循環器科)

塩田 瑞季
岸上 哲也、内藤 倫人、松山 麻央、加地 大悟、
堀江 知樹、長瀬 将、大方信一郎、埜本 優太、
三澤 透、宮崎 亮一、金子 雅一、李 哲民、
永田 恭敏、野里 寿史、足利 貴志

V-15 心房性不整脈の治療を契機に、心房中隔欠損症修復術後の遺残シャントが判明した2症例
(AOI国際病院循環器内科) 鎌田 龍明
川端美穂子、米内 竜、仲宗根 卓、川島 朋之、
前田 真吾、平尾 見三
(AOI国際病院心臓血管外科) 藤崎 正之
(横浜みなと心臓クリニック) 沖重 薫
(AOI八王子病院) 新 博次

V-16 維持透析患者に発症した肺高血圧症に対して薬物治療が著効した1例
(山梨県立中央病院循環器内科) 渥美真生子
鮎沢 晶、市川 優真、清水 琢也、矢野 利明、
牧野 有高、佐野 圭太、梅谷 健、中村 政彦

V-17 左下肢浮腫と呼吸困難で発症した右総腸骨動脈瘤による動静脈瘻の一例
(新潟大学地域医療教育センター魚沼基幹病院循環器内科) 田中 和世
若杉 嵩幸、木村 新平
(新潟大学地域医療教育センター魚沼基幹病院心臓血管外科) 小熊 文昭
(魚沼市立小出病院内科) 工藤 路子、桑原 治
(長岡赤十字病院心臓血管外科) 鈴木 脩平、平原 浩幸、菅原 正明
(新潟大学大学院医歯学総合研究科循環器内科学) 猪又 孝元

ランチョンセミナー5 12:50-13:40 共催：ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社
座長 (富山大学学術研究部医学系内科学(第二)) 絹川弘一郎

心不全のUniversal Definition - 早期診断の重要性 -
(順天堂大学大学院医学研究科循環器内科学講座) 末永 祐哉

一般演題 セッション11 心筋炎・心筋症 1
13:50-14:35 座長 (自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科) 和田 浩
座長 (東京医科歯科大学病院循環器内科) 梅本 朋幸

V-18 病態不明のHF_rEF患者が脳卒中様発作を起こしミトコンドリア脳筋症(MELAS)合併心筋症の診断に至った一例
(亀田総合病院循環器内科) 篠崎 智哉
山下 周、佐藤 允俊、吉岡 賢二、植島 大輔、
水上 暁、松村 昭彦

V-19 99mTc-HMDPシンチグラフィが診断の一助となった心臓ATTRアミロイドーシスの一例
(公益財団法人榊原記念財団附属榊原記念病院循環器内科) 岡部 浩哉
中山 敦子、間淵 圭、七里 守、井口 信雄、
磯部 光章
(公益財団法人榊原記念財団附属榊原記念病院放射線科) 大滝 裕香

V-20 安静時に僧帽弁収縮期前方運動を認めなかった失神を伴う左室流出路狭窄の一例
(横浜市立みなと赤十字病院循環器内科) 萬野 智子
有馬 秀紀、斉藤 一平、清水 厚哉、山口 雄大、
小田 惇仁、新井 紘史、村田 和也、佐川雄一朗、
高橋 怜、浅野 充寿、志村 吏左、鈴木 秀俊、
倉林 学、山内 康熙

V-21 COVID-19に合併した劇症型心筋炎にECPELLAが有効であった一例
 (日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科) 川村 崇
 中田 淳、渡邊さやか、石原 翔、澁谷 淳介、
 宮地 秀樹、山本 剛
 (日本医科大学付属病院循環器内科) 岩崎 雄樹、清水 涉
 (日本医科大学多摩永山病院循環器内科) 斎藤 恒徳
 (日本医科大学解析人体病理学) 功刀しのぶ
 (東京品川病院救急科) 田島 幸佳
 (国立感染症研究所感染病理部) 鈴木 忠樹

V-22 肥大型心筋症の心筋肥大に伴う狭窄以遠に生じた心室瘤の経時的拡大を認めた一例
 (土浦協同病院循環器内科) 坂本 達哉
 星野 昌弘、左山 耕大、上野 弘貴、野上 開、
 長嶺 竜宏、羽生 佳弘、羽田 昌浩、杉山 知代、
 角田 恒和

V-23 感染性心内膜炎を併発した敗血症に起因するたこつぼ心筋症改善後も心機能低下が持続した一例
 (日本大学医学部医学科循環器内科) 星野慶次郎
 小嶋 啓介、高橋くらは、八田 拓海、村田 伸弘、
 遠山 一人、奥村 恭男

一般演題 セッション13 心筋炎・心筋症 2
 14:45-15:20

座長 (平塚共済病院循環器科) 大西 祐子
 座長 (聖マリアンナ医科大学病院循環器内科) 出雲 昌樹

V-24 心臓カテーテル検査で偶発的に指摘された多発心室瘤の一例
 (日本赤十字社医療センター第一循環器科) 越田 直也
 和田 七海、黒木菜見人、小林 裕貴、山本 溪介、
 瀧澤 雅隆、魚住 博記、池ノ内 浩

V-25 拡張型心筋症の加療中に短期間で左室内血栓をきたした1例
 (山梨大学医学部研修医) 内藤 匡紀
 (山梨大学医学部循環器内科) 安藤 涼太

V-26 オシメルチニブによる薬剤性心筋症が疑われた一例
 (自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科) 世沢 文音
 津久井卓伯、陣内 博行、谷口 陽介、伊部 達郎、
 牧 尚孝、和田 浩、坂倉 建一、藤田 英雄

V-27 たこつぼ型心筋症による心原性ショックに対しランジオロールを投与することで左室流出路狭窄が改善した3例
 (順天堂大学医学部附属練馬病院循環器内科) 曹 叡智
 井上 健司、佐々木 俊、竹内 充裕、國本 充洋、
 福田健太郎、比企 優、久保田直純、田淵 晴名、
 古賀 聖土、田村 浩、磯田 菊生
 (順天堂大学大学院医学研究科循環器内科) 南野 徹

V-28 ステロイドパルス療法、免疫グロブリン製剤によって治療に奏功した免疫関連副作用 (irAE) 心筋炎の一例
 (東邦大学医療センター大橋病院循環器内科) 田口慎太郎
 中村 飛鳥、齋藤 翔太、橋本 剛、林 典行、
 原 英彦、中村 正人

デザートセミナー3

15:30-16:20

共催：ポストサイエンティフィックジャパン株式会社

座長（東京医科歯科大学循環制御内科学）笹野 哲郎

コメンテーター（川崎幸病院循環器内科） 桃原 哲也

「心房細動トータルマネジメント」

- 左心耳閉鎖術：抗凝固療法の代替となりうるか？ -

心房細動に対する抗凝固療法の現状と課題 —左心耳閉鎖術の最新のエビデンスを踏まえて—
（慶應義塾大学医学部循環器内科） 猪原 拓

心房細動アブレーション時代におけるWATCHMAN™の適応と意義
（横須賀共済病院循環器内科） 大久保健史

会長企画セッションⅡ

16:30-18:00

循環器疾患ディベート：1. 心不全に合併した心房細動にはまずはカテーテルアブレーションを行うべきだ

座長（東京都立広尾病院循環器内科） 深水 誠二

座長（昭和大学病院医学部内科学講座循環器内科学部門） 浅野 拓

Pros.（亀田総合病院循環器内科） 水上 暁

Cons.（東京都立広尾病院循環器内科） 北條林太郎

循環器疾患ディベート：2. 慢性冠症候群に対するPCIは必要ないのか？

座長（草加市立病院循環器内科） 稲垣 裕

座長（東京医科歯科大学循環器内科） 米津 太志

Pros.（土浦協同病院循環器内科） 星野 昌弘

Cons.（横須賀共済病院循環器センター内科） 菱刈 景一

第Ⅵ会場

日本循環器学会関東甲信越地方会と日本心臓リハビリテーション学会関東甲信越支部の合同シンポジウム

9:00-10:30

座長 (新潟大学大学院医歯学総合研究科循環器内科学) 猪又 孝元

座長 (さいたま市民医療センター内科) 石田 岳史

エキスパートに聞くnew心臓リハビリテーション

地域包括ケア時代において回復期病院の心臓リハビリ活動が果たせる役割

(新潟南病院内科・リハビリテーション科) 小幡 裕明

HFpEFの診断におけるInvasive cardiopulmonary exercise testの役割

(群馬大学医学部附属病院循環器内科) 小保方 優

心血管疾患患者が就労に戻るために医療従事者は何をしなければならないか

(榊原記念病院循環器内科) 中山 敦子

小児先天性心疾患児の心臓リハビリテーション

(群馬県立小児医療センターリハビリテーション課)

熊丸めぐみ

(群馬県立小児医療センター循環器科)

下山 伸哉

第13回ダイバーシティ・フォーラム

10:50-12:20

座長 (東京都済生会中央病院循環器科) 遠藤 彩佳

第7回めざせ循環器専門医！循環器専門医試験対策セミナー

心臓突然死と心臓自律神経

(日本医科大学付属病院循環器内科)

岩崎 雄樹

循環器専門医が知っておきたい『高血圧』

(横浜市立大学医学部・附属病院循環器腎臓高血圧内科学・循環器内科)

石上 友章

ランチョンセミナー6

12:50-13:40

共催：エドワーズライフサイエンス株式会社

座長 (川崎幸病院循環器内科)

大西 隆行

広がり続けるTAVI~再考するAS治療の現状と今後~

「これって本当に無症状？ ~AS治療の至適タイミングを考える~」

(埼玉医科大学国際医療センター心臓内科)

荒井 隆秀

「弁膜症に対する低侵襲カテーテル治療 最新の情報と今後の展望」

(慶應義塾大学病院循環器内科)

林田健太郎

学術委員会企画セッション

13:50-15:20

座長 (千葉大学医学部附属病院循環器内科) 岩花 東吾
座長 (慶應義塾大学病院循環器内科) 白石 泰之

基礎心疾患から見た心不全治療

循環器診療に携わる人は皆心不全の問題に直面します。この問題を皆で共有し、皆で解決策を探しましょう。

Updates on ischemic heart disease – Revascularization, pharmacological therapy, and beyond

(千葉大学医学部附属病院循環器内科) 齋藤 佑一

弁膜症を伴う心不全に対する薬剤とカテーテルによるコンビネーション治療

(東邦大学医学部内科学講座循環器内科学分野) 佐地 真育

(東邦大学医学部内科学講座)

小原 浩、矢部 敬之、小島 至正、細野 啓介、
土橋慎太郎、松本 新吾、野池 亮太、木内 俊介、
天野 英夫、池田 隆徳

心不全に合併する不整脈：我々は今どこにいるのか、そしてどこへ向かうべきか

(聖マリアンナ医科大学循環器内科) 中島育太郎

デザートセミナー4

15:30-16:20

共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

座長 (横浜南共済病院循環器内科) 鈴木 誠

「カテーテルアブレーションにおける多極マッピングカテーテルOCTARAY®を活用した高密度マッピングの有用性」

(東海大学医学部附属病院循環器内科) 柳下 敦彦

生物統計セミナー

16:30-17:15

座長 (横浜南共済病院循環器内科) 清水 雅人

診断制度・転帰予測研究の読み方書き方

(亀田総合病院救命救急科) 白石 淳

基礎研究セミナー

17:15-18:00

座長 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科循環制御内科学) 前嶋 康浩

基礎研究へのいざない～循環器医が基礎研究を志す理由は？～

選択的オートファジーによる小胞体の品質管理を軸とした心不全の分子機構解明

(東京医科歯科大学医歯学総合研究科循環制御内科学分野) 中釜 瞬

前嶋 康浩、范 沁涛、渡辺 由佳、田村 夏子、
井原 健介、笹野 哲郎

肺高血圧症と副甲状腺ホルモンの関連性についての検討

(順天堂大学医学部附属順天堂医院循環器内科学講座)

上木 裕介
小西 博広、南野 徹
高須 清

(順天堂大学医学部附属浦安病院循環器内科学講座)

榊原記念研究助成 研究成果発表会

13:00 ~ 16:30 / 4階 402A

共催：第266回日本循環器学会関東甲信越地方会

<式次第>

- 理事長挨拶 13:00 ~ 13:10
 - 第20回榊原記念研究助成採択者 贈呈式 13:10 ~ 13:30
 - ◀第17回榊原記念研究助成 研究成果発表会▶ 13:30 ~ 14:30
- 座長 (東京医科歯科大学難治疾患研究所生体情報薬理学分野) 古川 哲史

『カルテと診療情報のビッグデータ化とその有機的活用に関する研究』

KiCS-DPC (キックス・ディー・ピーシー)

(イェール大学医学部・慶應義塾大学医学部循環器内科) 澤野 充明

虚血性心疾患における β 遮断薬適応

(自治医科大学循環器内科内科学講座) 大場 祐輔

健康診断・診療情報ビッグデータを用いた疾病発症予測

(国立循環器病研究センター臨床研究部) 櫃本 竜郎

J-IMPACTシステムによるCHIPの定義

(九州大学病院循環器内科) 仲野 泰啓

◀第18回榊原記念研究助成 研究成果発表会▶

14:45 ~ 15:45

座長 (東京女子医科大学循環器内科医療法人社団ゆみの) 萩原 誠久

『【不整脈】領域の疫学・基礎あるいは臨床研究』

スプライシング制御因子Rbm20変異による心房細動発症メカニズムの機序解明

(東京医科歯科大学難治疾患研究所生体情報薬理学分野) 井原 健介

ゲノム情報を用いた心房細動3の遺伝的基盤の解明と精密医療の実現

(東京大学大学院医学系研究科循環器内科学) 松永 紘

マウスを用いた補体副経路の制御による心室細動抑制効果の検討

(久留米大学医学部内科学講座心臓・血管内科部門) 伊藤 章吾

遺伝性不整脈患者の突然死リスクを上昇させる新規SNPの臨床的評価と病態ゲノム機構の解明

(元国立循環器病研究センター) 石川 泰輔

◀特別講演▶

15:45 ~ 16:25 (録画配信予定)

座長 (公益財団法人榊原記念財団附属榊原記念病院) 吉川 勉

「40歳代からの挑戦—英国での循環器内科教授として」

講師 (英国レスター大学、レスター・ライフサイエンス・アクセラレーター) 鈴木 亨

一般社団法人日本循環器学会 支部規程

(総則)

第1条 この規程は、一般社団法人日本循環器学会（以下「日本循環器学会」という）各地区の支部（以下「各支部」という）の遵守すべき事項を定める。

(事務局)

第2条 各支部の事務局は、日本循環器学会定款施行細則に定める地区に置く。

(目的および事業)

第3条 各支部は日本循環器学会の目的達成のため次の事業を行う。

- 1) 地方会の開催
- 2) 日本循環器学会国際トレーニングセンター（JCS-ITC）としての講習会等の開催
- 3) 日本循環器学会本部からの委託事項の処理
- 4) その他目的の達成に必要な事業

(会員)

第4条 各支部の会員は、当該地区に所属する日本循環器学会の正会員および準会員とする。

2. 支部名誉会員/支部特別会員/支部顧問等の設置は各支部役員会で定めることとする。

(社員)

第5条 社員とは、日本循環器学会定款及び定款施行細則に基づき選出された各支部に所属する社員をいう。

(支部長)

第6条 各支部に支部長1名を置く。

2. 支部長は定款に基づき選出された支部所属理事の協議で決定し、支部社員総会において報告する。
3. 支部長は支部を統括する。
4. 支部長の任期は2年とし、再任を妨げない。

(支部役員)

第7条 各支部に支部役員を若干名置く。

2. 支部役員は支部所属理事及び支部長の推薦で選出された会員とし、支部長を除いた支部役員を支部社員総会で承認する。
3. 支部役員は、地方会、事業計画・報告、予算・決算、その他支部長の求めに応じて支部運営にあたる。
4. 支部役員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(支部監事)

第8条 各支部に支部監事を若干名置く。

2. 支部監事は支部長が候補者を会員から推薦で選出し、支部社員総会で承認する。
3. 支部監事は支部の監査を行い、不正の事実があれば支部社員総会及び日本循環器学会本部に報告する。
4. 支部監事の任期は2年とし、連続して就任できる期数は3期までとする。

(支部幹事)

第9条 各支部に支部幹事を若干名置く。

2. 支部事務局担当幹事およびJCS-ITC担当幹事の設置は必須とする。
3. 支部幹事は支部長が会員から選出する。
4. 支部幹事は支部長を補佐し、役員会/社員総会において会計報告及びJCS-ITC業務の報告等を行う。
5. 支部幹事の任期は支部長の任期に準じ、再任を妨げない。

(支部評議員)

第10条 各支部に支部評議員を置くことができる。

2. 支部評議員は会員から選出する。
3. 支部評議員は支部業務を補佐する。
4. 支部評議員の選出方法/任期/定年等は各支部役員会で定めることとする。

(地方会会長)

第 11 条 各地方会に会長 1 名を置く。

2. 地方会会長は支部役員会の推薦で選出し、支部社員総会において承認する。
3. 地方会会長は地方会を主催し、その経理/事業内容を支部役員会及び支部社員総会に報告する。
4. 地方会会長の任期は、主催地方会にかかる業務が完了するまでとする。

(支部役員会)

第 12 条 支部役員会は、支部役員で構成する。

2. 支部役員会は年 1 回以上開催し、主に以下の事項を扱う。
 - 1) 事業計画・事業報告及び予算・決算の承認
 - 2) 地方会会長の選出
 - 3) 支部運営上重要な規則の承認
 - 4) その他本支部の運営に必要な事項の確認 (JCS-ITC 報告など)
3. 予算もしくは事業計画に大幅な変更が見込まれる場合には臨時支部役員会を開催しなければならない。
4. 支部役員会は支部長が招集し議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の協議により選出する。
5. 支部役員会は過半数が出席しなければ、その議事を決議できない。ただし、当該議事につき予め書面をもって意思を表示したもの、および他の支部役員を代理人として表決を委任したものは出席者とみなす。
6. 支部役員会の議事は出席者の多数決をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(支部社員総会)

第 13 条 支部社員総会は、社員で構成する。

2. 支部社員総会は年 1 回以上開催し、主に以下の事項を扱う。
 - 1) 事業計画・事業報告及び予算・決算の確認
 - 2) 決定された支部長の確認
 - 3) 支部役員・支部監事・地方会会長の承認または解任
 - 4) 支部運営上重要な規則の確認
 - 5) その他本会の運営に必要な事項 (JCS-ITC 報告など)
3. 支部社員総会は、支部長が招集し、議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の互選により選出する。
4. 支部社員総会は支部社員の過半数が出席しなければ、その議事を決議できない。ただし、当該議事につき予め書面をもって意思を表示したもの、および他の支部会員を代理人として表決を委任したものは出席者とみなす。
5. 支部社員総会の議事は出席者の多数決をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(支部評議員会)

第 14 条 支部評議員会は、支部評議員で構成する。

2. 支部評議員会は年 1 回以上開催し、以下の事項の報告を受ける。
 - 1) 予算・決算
 - 2) 事業計画および事業報告
 - 3) 地方会会長及び地方会開催地
 - 4) 支部長の選出結果
 - 5) その他本会の運営に必要な事項 (JCS-ITC 報告など)
3. 支部評議員会は、支部長が招集し、議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の協議により選出する。

(支部事務局業務)

第 15 条 支部事務局業務とは、支部役員会、支部社員総会、支部評議員会の運営、各事業の補助等をいう。

2. 支部事務局業務は、原則支部年会費収入の範囲内で収支均衡に努めなければならない。
3. 支部事務局業務にかかる経費精算の職務権限について、予算内経費精算は、支部事務局担当幹事による確認を必要(事後確認可)とする。予算枠外使用については、20 万円未満が支部長承認、20 万円以上が支部役員会承認を事前に必要とする。
4. 各支部は全事業の会計報告を毎月すみやかに本部事務局に報告することとする。

(地方会)

第16条 各支部は地方会を年1回以上開催する。

2. 地方会に演題を提出する者は原則として会員でなければならない。
3. 地方会収支について、原則、収入の範囲内で費用支出を行うこととし、収支均衡に努めなければならない。
4. 地方会において新たな試みを実施する場合は、事前に地方会会長と支部長で協議を行うこととする。
5. 地方会における参加費等の現金取り扱いについて、不正や過誤が発生しない体制を整えなければならない。
6. 地方会の経費精算は、地方会会長もしくは会長が定めた者が内容を確認したうえで実施する。なお全ての精算を原則地方会終了後2ヵ月以内に完了させること。

(JCS-ITC 講習会)

第17条 各支部はJCS-ITC講習会をJCS-ITC担当幹事が計画を取り纏め、開催する。

2. 講習会収支について、原則収入の範囲内で費用支出を行うこととし、収支均衡に努めなければならない。
3. JCS-ITC講習会に関わる経費精算の職務権限について、予算内経費精算は、JCS-ITC担当幹事による確認を必要(事後確認可)とする。予算枠外使用については、20万円未満が支部長承認、20万円以上が支部役員会承認を事前に必要とする。

附則

- 1) 本規則は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
- 2) この規程の改廃は日本循環器学会理事会の議決を経なければならない。

支部コンプライアンス・倫理規程

(目的)

第1条 この規程は、一般社団法人日本循環器学会全支部（以下「支部」という）におけるコンプライアンスに関し基本となる事項を定め、もって健全で適正な学会運営及び社会的信頼の維持に資することを目的とする。

(定義)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- 1) コンプライアンスとは、法令、各支部の諸規則を遵守することをいう。
- 2) 支部役職者とは、支部に所属する支部長・支部役員・支部監事・支部幹事・地方会会長をいう。
- 3) 支部職員とは、支部の事務を担当する職員をいう。
- 4) コンプライアンス事案とは、支部の構成員にかかわる法令又は定款等の本学会諸規則や支部会則等に違反、または違反するおそれのある事案をいう。

(支部役職者及び支部職員の責務)

第3条 支部役職者・支部職員は、支部の定める理念および目標を実現するため、それぞれの責任を自覚し、コンプライアンスの重要性を深く認識するとともに、人権を尊重し、高い倫理観を持って行動しなければならない。

2. 支部役職者・支部職員は、次に掲げることを理由として、自らのコンプライアンス違反行為の責任をのがれることはできない。

- 1) 規程について正しい知識がなかったこと
- 2) 規程に違反しようとする意思がなかったこと。
- 3) 支部の利益に資する目的で行ったこと

附 則

- 1) 本規程は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
- 2) この規程の改廃は日本循環器学会理事会の議決を経なければならない。

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部運営内規

(総則)

第1条 この内規は、一般社団法人日本循環器学会 支部規程を関東甲信越支部（以下「本支部」という。）において運用するために必要な事項を規定し、円滑な学会活動を推進することを目的とする。

(支部事務局)

第2条 本支部における支部事務局を東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル 日本コンベンションサービス株式会社内に設置する。

(支部長)

第3条

- 2年毎に行われる理事選出選挙の後、第6条2項に沿い支部長を決定するが、支部長の任期開始日は7月1日からとする。
- 支部長は日本循環器学会の関東甲信越地区で選出された理事の互選によって決定され、当該年度における本支部の事務を処理する。
- 支部規程第6条の4項に沿い、支部長の任期は2年とし再任を妨げないとするが、本支部における支部長の連続して就任できる期数は2期（通算4年）までとする。
- 支部長は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(支部役員)

第4条

- 支部役員は、支部規程第7条1項に沿い、支部所属理事の他、支部に所属する社員から支部長が推薦した者が務める。
- 支部役員の定数は、本支部においては16名程度とする。内訳としては支部に所属する理事（関東甲信越地区、女性、小児科、外科）とその他の役員とする。
- 支部役員は、関東甲信越地区の理事が推薦する、教授または部長以上の支部所属の社員とし、任期2年で再選は妨げない。関東甲信越地区理事による理事会にて決定する。
- 支部役員は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(支部監事)

第5条

- 支部規程第8条1項に定める支部監事の定数は、本支部においては2名とする。
- 支部規程第8条2項に定める支部監事の選出について、支部長が候補者を社員から選出することとする。なお独立性を鑑み、支部役員、支部幹事との兼務は不可とする。
- 監事は本支部の会計その他の事務遂行状況の監査を行うものとする。その任期は2年とし、再任はさまたげない
- 支部監事は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(支部幹事)

第6条

- 支部規程第9条に定める支部幹事は、本支部においては支部事務局担当幹事1名、JCS-ITC 講習

- 会担当幹事 1 名、ダイバーシティ推進委員会担当幹事 1 名とし、支部役員との兼務も可能とする。
3. 支部幹事は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。
 4. 支部事務局担当幹事ならびに JCS-ITC 担当幹事は、それぞれの業務における月度毎の収支状況をモニタリングし、予算進捗確認を行わなければならない。予算に対し収支悪化の場合は、対策を検討し支部長へ報告すること。また収支改善の場合は、その資金活用方法について検討し支部長へ報告することとする。
 5. 支部幹事は、会員の中から選出することとし、関東甲信越地区理事による理事会にて決定する。
 6. 支部幹事は、それぞれの業務において投資（JCS-ITC 講習会用のマネキン、事務局運営用のパソコン等）が必要な場合は、事業計画、予算において明確化し、支部役員会・支部社員総会において発言し、承認を得なければならない。

（支部評議員）

第 7 条

2. 支部規程第 10 条に定める支部評議員は、現任の支部評議員の推薦により選出し、支部評議員会において承認する。
3. 推薦人は、支部評議員会予定日より 15 日以前に候補者の推薦書を支部事務局へ提出する。
4. 有資格者でありながら推薦人が見当たらない場合は、支部長が推薦人となることが出来る。
5. 支部評議員の被推薦資格は、以下の 3 項をすべて満たすこととする。
 - 1) 65 歳以下で 7 年以上日本循環器学会会員であること
 - 2) 講師又は医長以上である者、または、本会学術集会において特別講演講師、教育講演講師、シンポジウム、パネルディスカッション、ファイヤーサイドカンファランスの演者を担当したことがあるもの
 - 3) 本支部地方会において過去 5 年間に 3 演題以上発表（共同演者でよい）していること。但し、基礎研究者・外科医・小児科医については別途考慮する。

（地方会会長）

第 8 条

2. 支部規程第 11 条に定める地方会会長の選出方法は以下のとおりとする。
 - 1) 資格 : 教授または部長以上の本支部評議員
 - 2) 推薦方法 : 評議員による他薦または自薦に基づき、支部長が提案し支部役員会で選出の上、支部社員総会で承認する。
 - 3) 推薦時期 : 支部役員会開催予定日より 15 日以前に支部長に推薦書を送付する。
3. 地方会会長は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。
4. 地方会会長は、「臨床研究の利益相反に関する共通指針の細則」に定められた様式の利益相反の自己申告書を支部長経由で本会へ提出しなければならない。
5. 地方会会長は、地方会開催場所・日程の決定を行う。
6. 地方会の主題および演題の選定および採択は、会長が裁量する。
7. 地方会実施にあたり、会長の推薦にて会長校事務局長を任命してよい。会長校事務局長は、会長からの指示に基づき、地方会運営を補助することとする。
8. 地方会運営にあたる企画会社手数料が過多とならないことを事前に確認しなければならない。
9. 地方会開催にあたり収入の受入れ、費用の精算の為、会長名において専用口座を開設する。口座

開設と同時にキャッシュカードを作成する場合は、会長から使用者・保管者を指名し、それ以外のもので利用出来ない体制を構築しなければならない。

10. お届け印、通帳は会長または会長が指名した者が保管する。保管にあたっては必ず施錠し、本人のみが解錠出来る体制としなければならない。

(支部役員会、支部社員総会、関東甲信越地区理事会、支部評議員会)

第9条

2. 支部規程第12条に定める支部役員会は、年1回開催とする。
3. 支部規程第13条に定める支部社員総会は、年1回開催とする。
4. 関東甲信越地区理事による理事会は、年2回開催とする。
5. 支部評議員会は、年3回開催とする

(支部事務局業務)

第10条

2. 支部規程第15条における支部事務局業務は、事務局担当幹事を補佐し、円滑に業務を遂行することを目的として、本業務に従事する人員を支部役員会の承認のもと採用しても構わない。雇用条件の変更がある場合は、支部役員会での承認を必要とする。
3. 上記1項の方法以外に、外部の業者や個人への業務委託を行ってもよい。委託にあたっては支部との間に契約が必須となる。(契約書において、資金管理面での過誤が無いように努めること、不正を行わないことを明記し、不正を行った場合の損害賠償を行う旨、記載すること。)

(地方会)

第11条

2. 支部規程第16条1項に定める地方会について、本支部は毎年4回地方会を開催する。
3. 地方会の名称は、第〇〇回日本循環器学会関東甲信越地方会とする。
4. 本支部地方会に関する事項は、本会の会告及びその他の手段により会員に広報する。また、その抄録データを本会に提出する。
5. 地方会において市民公開講座及び託児室設置を実施する場合は、本支部より、助成金90万円を地方会事務局に交付する。助成金は、経費内訳及び証憑書類の提出を持って交付するものとする。
6. 地方会の参加費は要領に別途定めたとおりとするが、参加費を変更する場合は支部役員会での承認を必要とする。
7. 地方会での寄付の受入は、「寄付金取扱規程」に基づき対応する。
8. 地方会における華やかな懇親会の開催を禁じる。
9. 地方会当日の現金(参加費)の取扱いにおいて、不正や過誤が発生しないよう関係するスタッフの教育を十分行わなければならない。
10. 地方会経費の精算は、リスク管理の観点から現金での精算を禁じ、原則請求書対応とする。請求書対応が難しい場合は、企画会社・スタッフによる立替精算を行い、後日レシートや領収書をもとに精算する。
11. 地方会終了後、余剰金が発生した場合、支部管轄の地方会口座に振込し、次回以降の地方会補助金とする。その後、口座は解約する。
12. 非会員の招請者、支部役員への待遇については要領に別途定めたとおりとするが、これ以外の対応を行う場合は、支部役員会での承認が必要とする。

13. 地方会時の専門医単位登録について、本会から明示された「単位登録の運営方法について」に沿って対応しなければならない。
14. 地方会演者は、発表時に定められた様式「利益相反の自己申告書」を提示する必要がある。
15. 本支部地方会会長は、若手循環器専門医の育成を目的として、Student Award、Resident Award、Clinical Research Award、Case Report Award を設け、各賞最優秀演題発表者1名、優秀賞2名を顕彰する。実施要領は別途定めた通りとする。

(JCS-ITC 講習会)

第12条

2. 年4回のインストラクター一覧更新時に、本会事務局より受領したインストラクター一覧を支部長ならびに幹事に提出すること。
3. JCS-ITC 講習会の事務業務（受講料受付・謝金や立替金の精算 等）については支部事務局において実施する。ただし業務の円滑化を目的として、外部の業者や個人への業務委託を行ってもよい。委託にあたっては支部との間に契約が必須となる。（契約書において、資金管理面での過誤が無いように努めること、不正を行わないことを明記し、不正を行った場合の損害賠償を行う旨、記載すること。）
4. コース開催日程は、各支部ホームページに掲載することとする。
5. 業務管理を明確化することを目的として、JCS-ITC 業務専用の口座を開設してよい。専用口座の取扱については、要領に別途定めたとおり慎重に行う。
6. コース開催時にコースディレクター等が立替精算をした場合は要領に別途定めたとおりに行い、不必要な経費支出は慎むこと。
7. コース終了後、コースディレクターは参加インストラクター・タスクを一覧化し（以下インストラクター・タスク一覧）、各自立替えしたコース開催地までの交通費を纏め、支部事務局（または外部委託している業者・個人）へ提出しなければならない。また、受講料収益と使用経費を一覧化し、コース毎の収支実績を作成し、合せて支部事務局へ提出する。
8. 各コースディレクターがコースに必要な資金を事前に仮払金として引出して使用する場合は、予め仮払金申請書を作成し、JCS-ITC 幹事のメール承認を要する。
なお、ITC 幹事がコースディレクターとなる場合は、支部長のメール承認を要する。
9. 経費精算において、振込対応では無く、上記の仮払金を活用し現金にて謝金精算や立替精算を行う場合は、必ず受領者から支部宛での領収書を頂き、証憑として支部事務局へ提出しなければならない。
10. 支部事務局（または外部委託している業者・個人）は、提出されたインストラクター・タスク一覧、旅費申請書、領収書等に基づき、謝金（交通費・宿泊費含む）・立替金の精算を行う。また謝金源泉税分の納税を行う。（謝金額についてはJCS-ITC 規定に則る。また旅費申請書、領収書等の証憑が無いものの精算は出来ない。）
11. 支部事務局は、収入・経費を取纏め（漏れが無いこと、経費使用理由等が明確であること等を再確認）の上、本部事務局へ提出し会計ソフトへの入力を依頼する。

(支部委員会)

第13条

2. 支部長は、本支部の事業の円滑な推進を図るため必要があると認めるときは、役員会の決議を経て、委員会を設置することができる。なお、これを廃止する場合も同様とする。
3. 前条の委員会は、必要に応じて部会、小委員会を組織することができる。
4. 委員会は、目的、委員構成、業務などを規定した支部委員会内規を作成し、役員会の承認を得なければならない。
5. 委員会は、委員長1名および委員若干名で組織する。
6. 委員長は支部長が支部役員の中から指名し、役員会の議を経て選任する。
7. 必要に応じて委員の中から副委員長を置くことができる。
8. 副委員長、委員は委員長が指名し、役員会の議を経て選任する。

附則

- 1) この内規は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
- 2) この内規改正は、支部役員会において審議し、支部社員総会にて決定する。

令和元年9月28日一部改定

令和2年9月5日一部改定

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 学術委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部学術委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、日本循環器学会関東甲信越支部の学術活動を支援することを目的とする。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。

3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

1) 地方会の学術面の向上について検討・協議し、役員会および会長に上申する。

2) その他学術活動に対する支援に必要な業務

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 情報・広報委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部情報・広報・啓発委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、本会のホームページやインターネットを利用した学会員への情報の提供、学術成果の社会への公開と還元、国内外の関連学会の情報提供交換等に関する活動を実施することを目的とする。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。
3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

- 1) 学会のホームページの作成、管理及び運用
- 2) インターネットによる本会の情報サービス
- 3) 国内外の関連学会等との情報交換と広報活動
- 4) その他必要な業務。

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 ダイバーシティ推進委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部ダイバーシティ推進委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、循環器学分野における男女並びに多種多様人材の共同参画の推進を図り、男女並びに多種多様人材の共同参画の視点に立った教育・研究・就業体制を確立するため、企画・立案・実施に当たることを目的とする。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。
2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。
3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。
2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。
1) 国内外の関連学会・団体等との情報交換および連携
2) 地方会でのダイバーシティ推進セッション等の企画立案・実施
3) その他必要な業務

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 チーム医療委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部チーム医療委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、地方会におけるコメディカルとの関わり方の検討および、コメディカル関係の諸学会との連絡調整を行う。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。

3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

1) 地方会におけるコメディカルの位置付けの検討および、コメディカル関係学会との連絡調整をする。

2) 関係諸学会からの依頼に応じて、本委員会において代表の派遣などを選考する。

3) 委員は、関係諸学会への渉外を担当し、外部機関の要請に応じてこれらが主催する会議等に本学会の代表として出席する。

4) その他必要な業務

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 地方会あり方検討委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部地方会あり方検討委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、地方会を活性化することを目的とし、地方会のあり方を検討・協議し、役員会および会長に上申する。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。
3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

- 1) 若手、女性、メディカルスタッフの参加促進策を検討・協議する。
- 2) 地方会プログラムの充実化を検討・協議する。
- 3) その他必要な業務

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 予防委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部予防委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、循環器疾患等の予防に関する事柄について、協議・検討し、役員会上申することを目的とする。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。

3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

1) すべての国民の循環器疾患等の予防を推進する業務。

2) 予防活動を積極的に推進し、その重要性を社会に発信する業務。

3) 循環器疾患等の予防研究の実施ならびに支援。

4) その他、循環器疾患等の予防に関する必要な業務。

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

MEMO

たった一度のいのちと歩く。

私たちの志

ここにいる責任と幸福。

私たちの前には、いつもかけがえのないいのちがあり、
新陳代謝を繰り返して生まれ、いつくしみの中で育ち、夢に胸を膨らませ、
しあわせになることを願って生きるいのち。
まず、私たちは、この地球上でもっとも大切なもののために働きます。
命の真摯さに向き合おう。

そのために、私たち製薬会社にできることは無数にある。

自分たちを磨き、自分たちの力を、自分たちの

私たちは、決して大きな会社ではない。でも、

どこにもない歴史があり、どこにもまずの

そしてどこにも負けない優秀な人材がい

困難をおそれない勇気を持つ。常務を

革新とは、ただの成長ではない。飛躍と

その真は、現状に満足する者には永久

つくるものは、薬だけではない。私たちが

人がどれほど花を咲かせることを望んでい

医療に従事する人がどれほどひと

人間に与えられた感受性をサビ

世界を救うのは薬だけではな

最高のチームになろう。どんな

力をあわせたい人間というもの

スピードをあげよう。いまここ

私たちは、その願いがどんな

急ぐ。走ってはいけない

そして、どんな時も疑念であ

私たちは薬をつくっている。人のいのち

仕事は、人をしあわせにできる。いつも、私たちはそのことを忘れないでいよう。

私たちは、さまざまな場所で生まれ、さまざまな時間を経て、さながら奇蹟のように、

この仕事、この会社、この仲間に出会った。そのことを心からよろこぼう。

そして、いまここにいる自分に感謝し、その使命に心血をそそぎ、かけがえのない

いのちのために働くことを、誇りとしよう。

人間の情熱を、人間のために使うしあわせ。私たちは、ひとりひとりが協和キリンです。

たった一度の、いのちと歩く。



私たちの志 検索

信頼と実績と共に、新たなステージへ

*Ultimaster Nagomi*TM

シリリムス溶出コロナリステントシステム



* Ultimasterの名称には、臨床課題の克服に貢献したいという想いが込められています。 一般的名称:冠動脈ステント 販売名:アルチマスターナゴミ 医療機器承認番号:30300BZX00264000

製造販売業者 **テルモ株式会社** 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-44-1 www.terumo.co.jp

※本製品の詳細は電子添文をご参照ください。

記載されている社名、各種名称は、テルモ株式会社および各社の商標または登録商標です。

©テルモ株式会社 2021年11月



Better Health, Brighter Future

タケダは、世界中の人々の健康と、
輝かしい未来に貢献するために、
グローバルな研究開発型のバイオ医薬品企業として、
革新的な医薬品やワクチンを創出し続けます。

1781年の創業以来、受け継がれてきた価値観を大切に、
常に患者さんに寄り添い、人々と信頼関係を築き、
社会的評価を向上させ、事業を発展させることを日々の行動指針としています。

武田薬品工業株式会社
www.takeda.com/jp

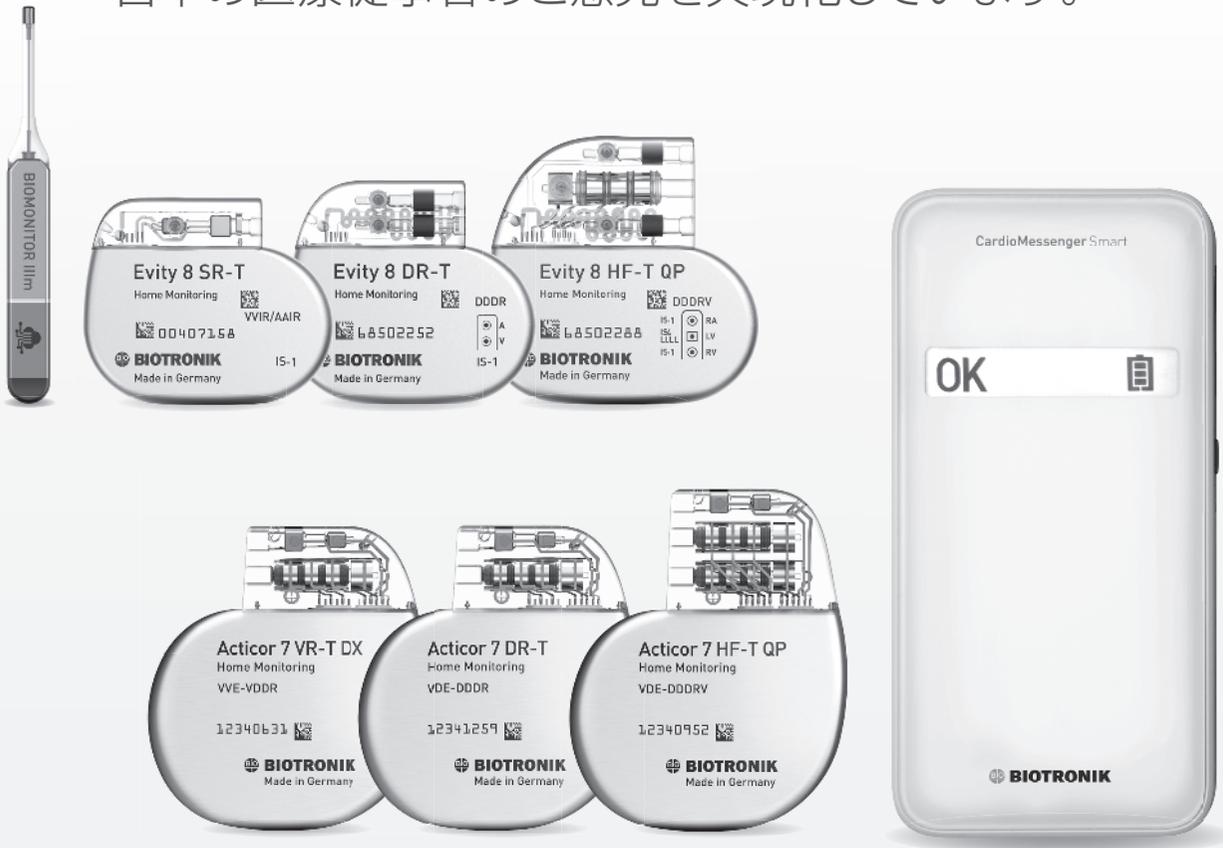




Designed for Japan,
Made in Germany

傾聴と技術力の融合。

BIOTRONIK は、
日本の医療従事者のご意見を具現化しています。



製造販売業者

バイオトロニックジャパン株式会社

〒150-0013

東京都渋谷区恵比寿1-19-19 恵比寿ビジネスタワー

Tel.03-3473-7471 Fax.03-3473-7472

外国製造業者

BIOTRONIK SE & Co. KG (ドイツ連邦共和国)

製品の詳細に関しては、製品添付の医療機器添付文書をご確認いただくか、弊社営業までお問い合わせください。

販売名: バイオモニター 3

販売名: エヴィティ 8-T ProMRI

販売名: エヴィティ 8 HF-T QP ProMRI

販売名: アクティコア 7 ICD ProMRI

販売名: アクティコア 7 ICD VR-T DX ProMRI

販売名: アクティコア 7 CRT-D ProMRI

医療機器承認番号: 30100BZX00153000

医療機器承認番号: 22900BZX00307000

医療機器承認番号: 22900BZX00078000

医療機器承認番号: 23100BZX00029000

医療機器承認番号: 23100BZX00030000

医療機器承認番号: 23100BZX00028000



BIOTRONIK
excellence for life



THE CHOICE IS IN YOUR CONTROL

全エピソードまたはキーエピソード、選べる柔軟性

[ALL] EPISODES

植込み型心電図記録計Jot Dx™で不整脈を見つける —
SharpSense テクノロジーを搭載したJot Dxは AF、徐脈及び
ポーズの偽陽性エピソード検出を大幅に低減しました。
精度高く検出したエピソードを漏らさず確認することで早期診断を目指します。

[3 KEY] EPISODES



スマートフォンを用いた容易なデータ送信



SharpSense™テクノロジーを用いた精度の高い検出

検出したらその日のうちに全てのエピソードのEGMを
遠隔モニタリングに送信します。
詳細な患者所見が正確な診断につながります。

製造販売元

アボットメディカルジャパン合同会社

〒105-7115 東京都港区東新橋一丁目5番2号

汐留シティセンター

TEL 03-6255-6372 FAX 03-6255-6373

販売名: ジョットDx

承認番号: 23000BZX00050A01

注: 本品のご使用に際しては、添付文書等を必ずお読みください。

™ Indicates a trademark of the Abbott group of companies.

©2022 Abbott. All rights reserved.

MAT-2117403 v2.0 | Item approved for Japan use only.



hbc
human health care

患者様の想いを見つめて、 薬は生まれる。

顕微鏡を覗く日も、薬をお届けする日も、見つめています。

病気とたたかう人の、言葉にできない痛みや不安。生きることへの希望。

私たちは、医師のように普段からお会いすることはできませんが、

そのぶん、患者様の想いにまっすぐ向き合っていたいと思います。

治療を続けるその人を、勇気づける存在であるために。

病気を見つめるだけでなく、想いを見つめて、薬は生まれる。

「ヒューマン・ヘルスケア」。それが、私たちの原点です。

ヒューマン・ヘルスケア企業 エーザイ



AFUTURE OF LIFE
Global Alliance

エーザイはWHOのリンパ系フィラリア病制圧活動を支援しています。

TEIJIN

Human Chemistry, Human Solutions

患者さんの Quality of Lifeの向上が 私たちの理念です。



帝人ファーマ株式会社 帝人ヘルスケア株式会社

〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号

PAD005-TB-2103-1

MicroPort

SpiderFlash™

Event loop recorder



3 recording modes

Auto-triggered | Automatic recording | Patient activation

24h Holter recording

Compatible with

HookUp 3™
programming software

EventScope™
analysis software

NOT AVAILABLE FOR DISTRIBUTION OR SALE IN THE USA.
©MicroPort CRM - September 2021 - RE06500033 - A - JP

製造販売業者: 日本マイクロポートCRM株式会社 販売名: スパイダーフラッシュ 一般名称: 発作時心臓活動記録装置(長時間心電用データレコーダ) 医療機器認証番号: 302AABZX00080000

To serve patients

患者さんのために、今できるすべてを

アムジェン株式会社の詳細につきましては
こちらをご覧ください



アムジェンは1980年、バイオテクノロジーの黎明期に米国カリフォルニア州ロサンゼルス近郊にて産声を上げました。

バイオテクノロジーを患者さんのために役立てることを決意し、以来、探求を重ねてきました。

40年を経た現在、アムジェンは世界最大規模の独立バイオテクノロジー企業へと成長しました。

日本では、循環器疾患、がん、骨疾患、炎症・免疫性疾患、神経疾患の領域に重点を置き、アンメット・メディカルニーズに応える製品開発を進めています。

アムジェン株式会社 **AMGEN**[®]



高脂血症治療剤

薬価基準収載

パルモディア[®]錠 0.1mg

PARMODIA[®] TAB. 0.1mg (ベマフィブラート錠)

処方箋医薬品：注意—医師等の処方箋により使用すること

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む使用上の注意等については電子添文をご参照ください。



製造販売元(文献請求先及び問い合わせ先)

興和株式会社

東京都中央区日本橋本町三丁目4-14

2022年3月作成



Otsuka-people creating new products for better health worldwide



V₂-受容体拮抗剤

劇薬、処方箋医薬品注) 薬価基準収載

サムタス[®] 点滴静注用 8mg
点滴静注用 16mg

新発売

Samtasu[®] for I.V. infusion

トルバブタンリン酸エステルナトリウム

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

◇効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は、添付文書をご参照ください。



製造販売元

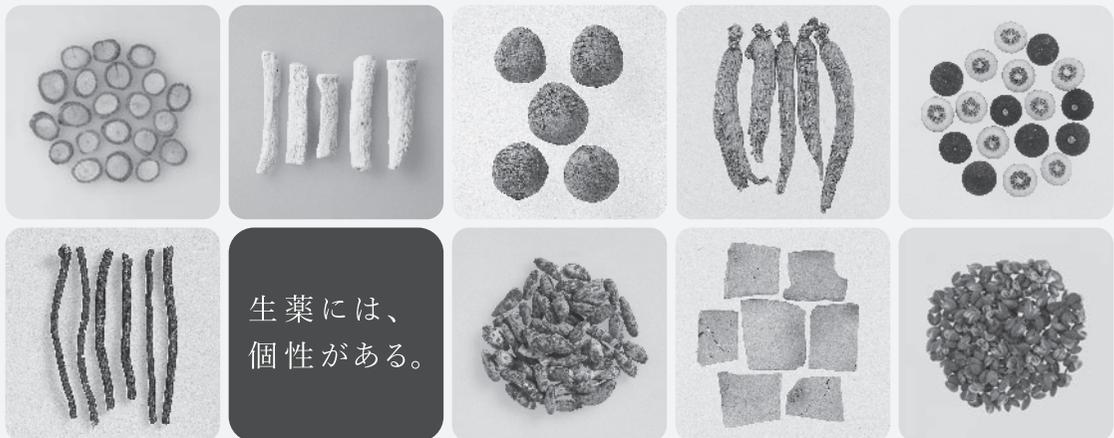
大塚製薬株式会社
東京都千代田区神田司町2-9

文献請求先及び問い合わせ先

大塚製薬株式会社 医薬情報センター

〒108-8242 東京都港区港南2-16-4 品川グランドセントラルタワー

〈'22.05作成〉



生薬には、
個性がある。

漢方製剤にとって「良質」とは何か。その答えのひとつが「均質」である、とツムラは考えます。自然由来がゆえに、ひとつひとつに個性がある生薬。漢方製剤にとって、その成分のばらつきを抑え、一定に保つことが「良質」である。そう考える私たちは、栽培から製造にいたるすべてのプロセスで、自然由来の成分のばらつきを抑える技術を追求。これからもあるべき「ツムラ品質」を進化させ続けます。現代を生きる人々の健やかな毎日のために。自然と健康を科学する、漢方のツムラです。

良質。均質。ツムラ品質。



株式会社ツムラ <https://www.tsumura.co.jp/> 資料請求・お問合せは、お客様相談窓口まで。

医療関係者の皆様 tel.0120-329-970 患者様・一般のお客様 tel.0120-329-930 受付時間 9:00~17:30 (土・日・祝日は除く)

2021年4月制作 (審)

SSPC

Site Selective Pacing Catheter

Easy Delivery

選択的な
ペーシングポジションの提供
リードの植込み手技を
より容易に



内径8frのガイディングが3形状

ACCOLADE MRI

Pacemaker

Unlimited

長期間における
ペーシング治療の提供
MVセンサーを搭載し、
より生理的なペーシングを



販売名: アコレード MRI 医療機器承認番号: 22700BZX00334000
販売名: Site Selective Pacing デリバリーカテーテル 医療機器承認番号: 30300BZX00131000

総販売元:
日本ライフライン株式会社
〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目2番20号
<https://www.jll.co.jp>

製造販売元:
ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
本社 東京都中野区中野4-10-2 中野セントラルパークサウス
www.bostonscientific.jp
CRM-1387312-AA

製品の詳細に関しては添付文書等でご確認いただくか、弊社営業担当へご確認ください。
© 2022 Boston Scientific Corporation or its affiliates. All rights reserved.
All trademarks are the property of their respective owners.



HIF-PH阻害剤 一腎性貧血治療剤— 薬価基準収載

バフセオ® 150mg
錠 300mg
VAFSEO® Tablets 150mg, 300mg (バダデユスタット錠)

劇薬 処方箋医薬品 (注意—医師等の処方箋により使用すること)

「効能又は効果」、「用法及び用量」、「警告・禁忌を含む使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。



製造販売元(文献請求先及び問い合わせ先)
田辺三菱製薬株式会社
大阪市中央区道修町3-2-10



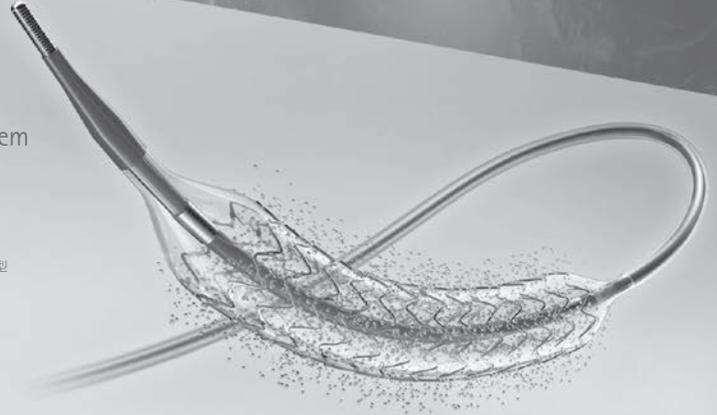
プロモーション提携
扶桑薬品工業株式会社
大阪市城東区森之高二丁目3番11号



販売名：アペルタ NSE PTCA バルーンカテーテル
医療機器承認番号：30300BZX00270000
一般的名称：冠血管向けバルーン拡張式血管形成術用カテーテル
クラス分類：クラスⅣ（高度管理医療機器）
特定保険医療材料請求分類：心臓手術用カテーテル
経皮的冠動脈形成術用カテーテル
スリッピング防止型
製造販売：株式会社グッドマン

Coroflex® ISAR NEO

Sirolimus Eluting Polymer-Free Coronary Stent System



販売名：Coroflex ISAR Neo コロナリースtent
医療機器承認番号：30200BZX00213000
一般的名称：冠動脈stent
クラス分類：クラスⅣ（高度管理医療機器）
特定保険医療材料請求分類：心臓手術用カテーテル 冠動脈用stentセット 再狭窄抑制型
製造販売：ニプロ株式会社
製造(輸入元)：ビーブラウン・メルズンゲンAG.



ニプロ株式会社
大阪市北区本庄西3丁目9番3号
(資料請求先)

2022年6月作成

信頼に答え、 人々の生命を支える

先端材料技術と広範な事業の基盤技術・ノウハウを融合させることで、医療技術の向上、予防医療の発展、医療従事者の負担軽減を促進し、人々が願う「健康」「長寿」をより確かなものにする。

東レはバルーンテクノロジーによる循環器分野への貢献で、「東レ型ライフィノベーション」を推進しています。

‘TORAY’
Innovation by Chemistry



 HotBalloon™

心房細動カテーテルアブレーションシステム

東レ株式会社 東レ・メディカル株式会社

一般的名称：アブレーション向け循環器用カテーテル / 承認番号：22700BZX00355000 / 製造販売業者：東レ株式会社 / 販売業者：東レ・メディカル株式会社

まだないくすりを
創るしごと。

世界には、まだ治せない病気があります。

世界には、まだ治せない病気とたたかう人たちがいます。

明日を変える一錠を創る。

アステラスの、しごとです。

明日は変えられる。



アステラス製薬株式会社

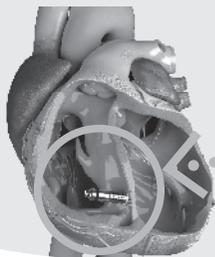
www.astellas.com/jp/

Medtronic

一人ひとりの徐脈治療に、
次なる選択肢を

Meet Micra AV&VR

Micra™ AV and Micra™ VR
transcatheter pacing system



Leadless pacing
experience

リードレスペースング

AV VR

AV synchrony
房室同期ペースング

AV

Streamlined
procedure

効率化された手技

AV VR

日本メドトロニック株式会社
カーディアックリズムマネジメント
108-0075 東京都港区港南1-2-70
medtronic.co.jp

© 2022 Medtronic.

Medtronic、メドトロニック及びMedtronicロゴマークは、Medtronicの商標です。TMを付記した商標は、Medtronic companyの商標です。

■使用目的又は効果、警告・禁忌を含む使用上の注意等の情報につきましては製品の電子添文をご参照ください。■ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

■掲載の製品イメージは印刷条件等により、実物と印象が相違する場合があります。

販売名 / 医療機器承認番号 Micra 経カテーテルペースングシステム / 22900BZX00047000

FY22-CRM296_Ver.1.0

PHILIPS

OmniWire

A new wire from tip to tail

OmniWire プレッシャーガイドワイヤは、操作性と耐久性の向上を追求し、大径ソリッドコア構造を採用しました。大規模エビデンス^{1,2}に基づいた iFR は、アンギオ画像との co-registration が可能で、Physiology の新たな進化をもたらします。There's always a way to make life better.

innovation  you

株式会社フィリップス・ジャパン
www.philips.co.jp/healthcare

1. Davies JE, et al., DEFINE-FLAIR: A Multi-Centre, Prospective, International, Randomized, Blinded Comparison of Clinical Outcomes and Cost Effectiveness of FFR and FFR Decision-Making for Physiological Guided Coronary Revascularization. New England Journal of Medicine, epub March 18, 2017.
2. Golberg M, et al., Instantaneous Wave-Free Ratio Versus Fractional Flow Reserve Guided Intervention (FR-SWEDEHEART): A Multicenter, Prospective, Registry-Based Randomized Clinical Trial. New England Journal of Medicine, epub March 18, 2017.

OmniWire プレッシャーガイドワイヤ

販売名: OmniWire プレッシャーガイドワイヤ
医療機器承認番号: 30200BZX00112000
販売名: Synchroton システム
医療機器承認番号: 230ACBZX0008000
販売名: IntraSight イメージングシステム
医療機器承認番号: 301AFBZX00033000

記載されている製品名などの固有名称は、Koninklijke Philips N.V. の商標または登録商標です。
© 2022 Koninklijke Philips N.V.

アボットメディカルジャパン合同会社、日本光電工業株式会社、新しいステージへ。
両社は不整脈領域において包括的パートナーシップを締結いたしました。

アボットメディカルジャパン合同会社

〒105-7115 東京都港区東新橋一丁目5番2号 汐留シティセンター
Tel: 03-6255-5980 Fax: 03-6255-5981
www.cardiovascular.abbott.jp

日本光電工業株式会社

〒161-8560 東京都新宿区西落合1-31-4
Tel: 03-5996-8000 Fax: 03-5996-8091
www.nihonkohden.co.jp

™ Indicates a trademark of the Abbott Group of Companies.

© 2022 Abbott. All rights reserved. MAT-2208276 v1.0 | Item approved for Japan use only.

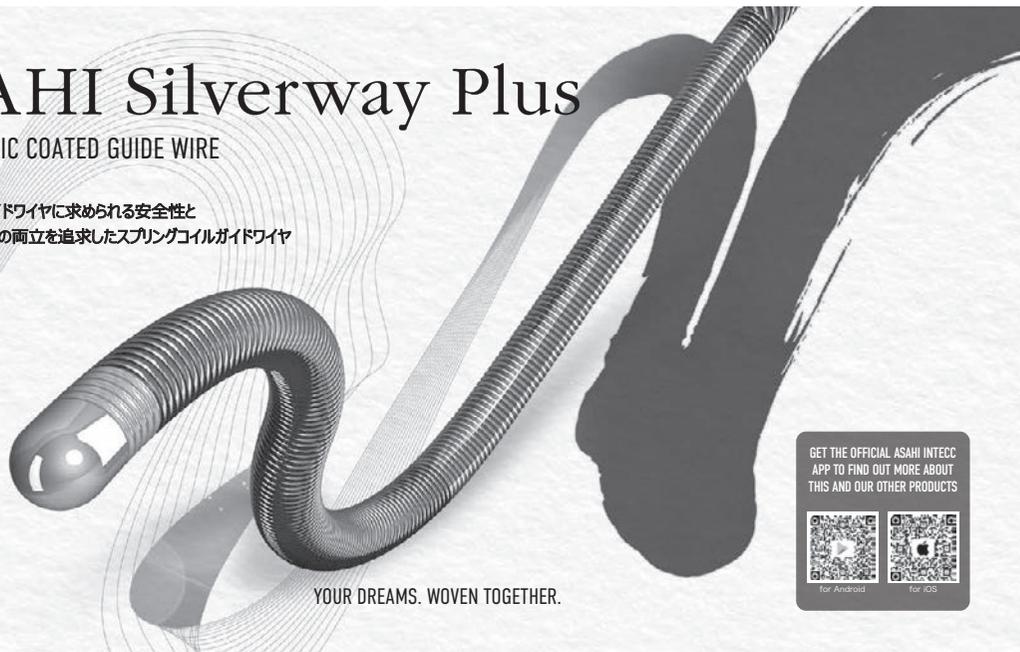
 NIHON KOHDEN

 Abbott

ASAHI Silverway Plus

HYDROPHILIC COATED GUIDE WIRE

血管造影用ガイドワイヤに求められる安全性と
使い勝手の良さを両立させたスプリングコイルガイドワイヤ



YOUR DREAMS. WOVEN TOGETHER.

GET THE OFFICIAL ASAHI INTECC
APP TO FIND OUT MORE ABOUT
THIS AND OUR OTHER PRODUCTS



for Android



for iOS

製造販売元

ASAHI INTECC

朝日インテック株式会社

〒469-0071 愛知県瀬戸市眺町3番地100
TEL: 0561-48-9551 FAX: 0561-48-5552
www.asahi-intecc.co.jp

販売元

ASAHI INTECC J-sales

朝日インテックJセールス株式会社

〒108-0075 東京都港区港南2-3-13 品川フロントビル5階
TEL: 03-6433-3100 FAX: 03-5715-4700
注文受付FAX: 0570-000-675
www.asahi-inteccj.com

販売名: シルバーウェイ ガイドワイヤー

医療機器承認番号: 22600BZX00502000

特定保険医療材料機能区分: ガイドワイヤー (150cm)

血管造影用ガイドワイヤー 交換用 (180cm 以上)

※在庫状況は担当営業にお問い合わせください。

© 2021 ASAHI INTECC CO., LTD.
"ASAHI" 及び "Silverway" は朝日インテック株式会社の日本国及びその他の国における商標又は登録商標です。
Coated with SURFOAT™ coating.

P22034_P_LC_1.0

MEMO

Medtronic

Restoring life's rhythm

First choice for your patients

Before the AF progresses

Start with Medtronic cryoablation for paroxysmal AF.



メドトロニックのクライオアブレーションは、発作性心房細動に対する第一選択治療への適応拡大について薬事承認を取得しました（2022年5月時点で保険未収載です）。新しい一歩を踏み出して、より多くの患者さんに低侵襲な治療を提供できるよう、メドトロニックはスタンダードオブケアを目指して努力を続けてまいります。

販売名 / 医療機器承認番号

Arctic Front Advance 冷凍アブレーションカテーテル / 22600BZX00062000

Achieve マッピングカテーテル / 22600BZX00063000

FlexCath Advance ステアラブルシース / 22600BZX00064000

Freezor MAX 冷凍アブレーションカテーテル / 22600BZX00060000

日本メドトロニック株式会社

カーディアックアブレーションソリューションズ

medtronic.co.jp

使用目的又は効果、警告・禁忌を含む使用上の注意等の情報につきましては製品の電子添文および取扱説明書をご参照ください。
U0465_2 © 2022 Medtronic. Medtronic、メドトロニック及びMedtronicロゴマークは、Medtronicの商標です。





Intelligent healthcare made easy

Introducing our new approach to AI in healthcare

AIテクノロジーを活用した、新しい医療価値の創出——。

その世界の起点を

私たちは変わることなく、尊い「いのち」への貢献であると考えています。

一人ひとりの患者さんのペーシェント・ジャーニー。

さまざまなシーンで、よりパーソナライズされた高精度な診断を支えるのは、高精度データです。

高精細検出器をはじめとする独自技術を、機械学習・深層学習の技術と融合させる。

私たちのアプローチから生まれたソリューションはすでに、

診断の「質」の向上、CTIにおける被ばく量の低減など、新たな医療の世界をかたちづくっています。

<Altivity>は、キヤノンメディカルシステムズのAIソリューション・ブランドです。